

人口動態等に関する報告書

【令和5年度】



令和6年8月
都市政策課

目次

I	人口及び世帯	1
1	人口	1
2	世帯数及び1世帯当たり人員	2
3	年齢別人口	4
4	在留外国人の人口及び世帯数	14
II	人口動態	17
1	人口増減	17
2	自然動態	18
3	社会動態	20
4	単身世帯の社会動態	22
5	二人世帯の社会動態	26
6	三人以上世帯の社会動態	29
7	年齢別及び転入元・転出先別の移動数	33
III	ファミリー世帯の社会動態	38
1	社会動態	38
2	転入元・転出先別の移動数	41
3	町丁目別移動	42
IV	尼崎市の人口の動向—令和2年国勢調査を中心に	49
1	人口構成の変化と少子化	49
2	単身世帯及び高齢単身世帯の動向	53
3	昼夜間人口比率	54

※本書の利用にあたって

➤ 尼崎市の6地区は下図のとおりである。



【参考】 6地区にある鉄道駅

- ・中央：〔阪神〕 出屋敷・尼崎・大物
- ・小田：〔J R〕 尼崎 〔阪神〕 杭瀬
- ・大庄：〔阪神〕 武庫川・尼崎センタープール前
- ・立花：〔阪急〕 塚口 〔J R〕 立花
- ・武庫：〔阪急〕 武庫之荘
- ・園田：〔阪急〕 園田 〔J R〕 塚口・猪名寺

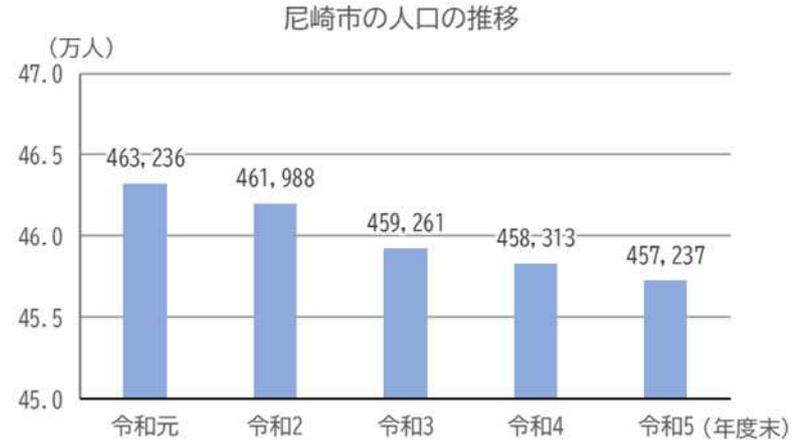
➤ 本報告書掲載の図表では、人口減少数、転出数、転出超過数等にはマイナスの符号を付した。

I 人口及び世帯

1 人口

(1) 全市

令和5年度末（令和6年3月31日現在。以下、同様。）における尼崎市の人口は、4年連続で減少し、457,237人となった。最近5年間の推移をみると、令和元年度末より1.3%減少（▲5,999人）した。



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 地区別

令和5年度末における人口は、立花地区（106,966人）、園田地区（98,051人）、武庫地区（75,154人）の順で多く、北部3地区が南部3地区より多い。また、前年度末と比べて、園田地区が0.1%増加（135人）、大庄地区が0.7%減少（▲372人）となった。

最近5年間で人口が増加したのは園田地区で、令和元年度末より0.8%増加（817人）した。ほか5地区は減少し、このうち大庄地区が3.9%減少（▲2,094人）と、減少率が最も高い。



人口（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化（R1-R5年度）	
						実数	増加率
全 市	463,236	461,988	459,261	458,313	457,237	▲ 5,999	▲ 1.3%
中央地区	52,847	52,752	52,346	52,116	51,774	▲ 1,073	▲ 2.0%
小田地区	75,378	74,787	74,207	74,408	74,239	▲ 1,139	▲ 1.5%
大庄地区	53,147	52,891	52,003	51,425	51,053	▲ 2,094	▲ 3.9%
立花地区	108,129	107,996	107,473	107,051	106,966	▲ 1,163	▲ 1.1%
武庫地区	76,501	76,218	75,766	75,397	75,154	▲ 1,347	▲ 1.8%
園田地区	97,234	97,344	97,466	97,916	98,051	817	0.8%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

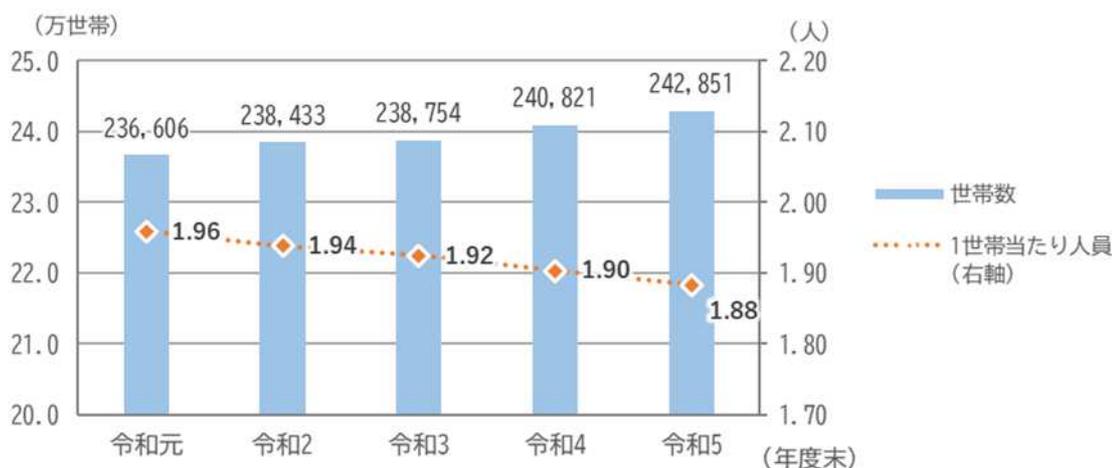
2 世帯数及び1世帯当たり人員

(1) 全市

令和5年度末における尼崎市の世帯数は242,851世帯である。世帯数は増加が続いており、令和元年度末に比べ2.6%増加（6,245世帯）した。

1世帯当たり人員は1.88人となり、令和元年度末より0.08人減少している。

尼崎市の世帯数及び1世帯当たり人員の推移



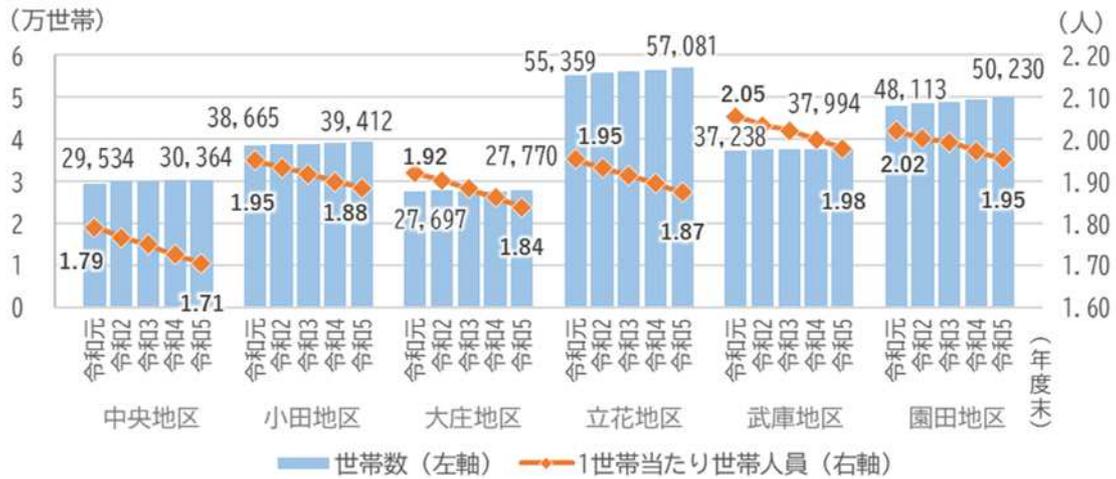
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 地区別

令和5年度末における世帯数は、立花地区（57,081世帯）、園田地区（50,230世帯）、小田地区（39,412世帯）の順が多い。また、全ての地区で、令和元年度末より世帯数が増加した。増加率が最も高いのは園田地区で、4.4%増加（2,117世帯）である。

1世帯当たり人員は、6地区とも減少し、令和5年度末において、全ての地区で2.00人未満となった。

地区別世帯数及び1世帯当たり人員の推移



世帯数 (各年度末現在)

(単位：世帯)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
全 市	236,606	238,433	238,754	240,821	242,851	6,245	2.6%
中央地区	29,534	29,864	29,937	30,222	30,364	830	2.8%
小田地区	38,665	38,698	38,681	39,157	39,412	747	1.9%
大庄地区	27,697	27,789	27,625	27,628	27,770	73	0.3%
立花地区	55,359	55,928	56,116	56,492	57,081	1,722	3.1%
武庫地区	37,238	37,499	37,498	37,695	37,994	756	2.0%
園田地区	48,113	48,655	48,897	49,627	50,230	2,117	4.4%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

1世帯当たり人員 (各年度末現在)

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化 (R1-R5年度)
全 市	1.96	1.94	1.92	1.90	1.88	▲ 0.08
中央地区	1.79	1.77	1.75	1.72	1.71	▲ 0.08
小田地区	1.95	1.93	1.92	1.90	1.88	▲ 0.07
大庄地区	1.92	1.90	1.88	1.86	1.84	▲ 0.08
立花地区	1.95	1.93	1.92	1.90	1.87	▲ 0.08
武庫地区	2.05	2.03	2.02	2.00	1.98	▲ 0.08
園田地区	2.02	2.00	1.99	1.97	1.95	▲ 0.07

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

3 年齢別人口

(1) 年齢3区分別人口

①全市

令和5年度末における0～14歳人口（年少人口）は50,651人、15～64歳人口（生産年齢人口）は281,502人、65歳以上人口（老年人口）は125,084人である。

令和元年度末と比べると、0～14歳人口は5.5%減少（▲2,967人）、15～64歳人口は0.1%減少（▲367人）、65歳以上人口は、2.1%減少（▲2,665人）となった。



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

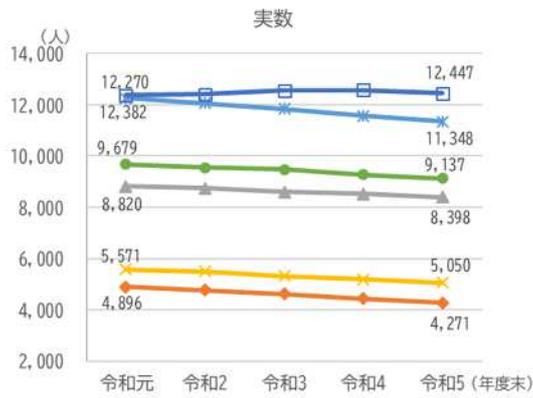
②地区別

令和5年度末の0～14歳人口は、園田地区（12,447人）、立花地区（11,348人）、武庫地区（9,137人）の順で多い。園田地区は、令和元年に立花地区を上回り、最多となった後も増加が続き、令和元年度末と比べて0.5%の増加（65人）となった。ほか5地区では減少し、減少率は、令和元年度末比で中央地区12.8%（▲625人）、大庄地区9.4%（▲521人）、立花地区7.5%（▲922人）の順で高くなっている。

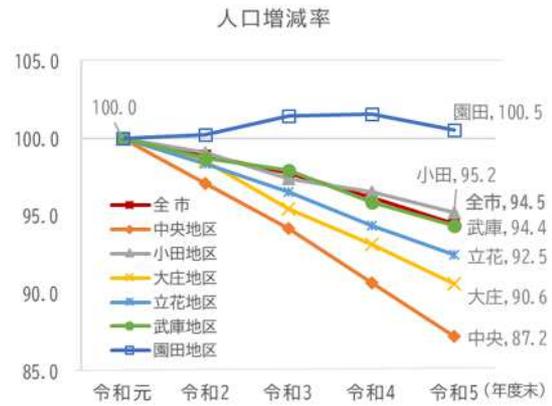
次に、15～64歳人口をみると、令和5年度末は、立花地区（66,534人）、園田地区（62,242人）、武庫地区（46,136人）の順で多い。令和元年度末と比べると、園田地区が1.4%増加（886人）、立花地区が0.8%増加（189人）、小田地区が0.8%増加（114人）し、中央地区は横ばいとなった。ほか2地区は、大庄地区で2.3%（▲694人）、武庫地区で1.8%（▲848人）の減少となった。

65歳以上人口は、令和5年度末において、立花地区（29,084人）、園田地区（23,362人）、小田地区（20,953人）の順で多い。令和元年度末と比べると、武庫地区をのぞく5地区で減少し、小田地区3.8%（▲831人）、中央地区2.7%（▲434人）の順で減少率が高かった。

0～14 歳人口の推移

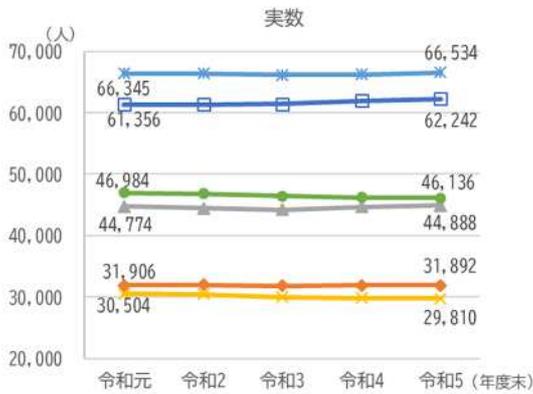


資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）
※グラフの記号は右図に同じ。（以下同じ。）



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）
※令和元年度末を100とする。（以下同じ。）

15～64 歳人口の推移

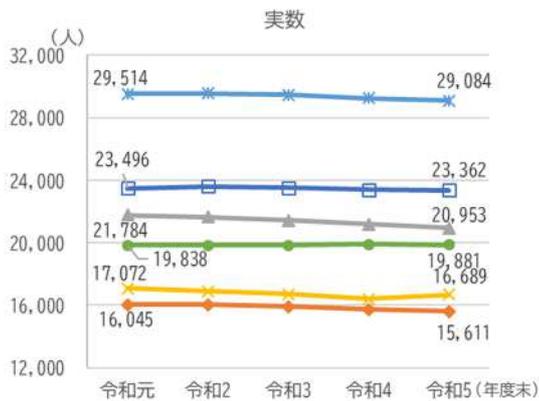


資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

65 歳以上人口の推移



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

0～14歳人口（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化（R1-R5年度）	
						実数	増加率
全 市	53,618	53,019	52,407	51,575	50,651	▲ 2,967	▲ 5.5%
中央地区	4,896	4,755	4,612	4,440	4,271	▲ 625	▲ 12.8%
小田地区	8,820	8,738	8,590	8,517	8,398	▲ 422	▲ 4.8%
大庄地区	5,571	5,491	5,319	5,189	5,050	▲ 521	▲ 9.4%
立花地区	12,270	12,066	11,847	11,576	11,348	▲ 922	▲ 7.5%
武庫地区	9,679	9,555	9,481	9,280	9,137	▲ 542	▲ 5.6%
園田地区	12,382	12,414	12,558	12,573	12,447	65	0.5%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

15～64歳人口（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化（R1-R5年度）	
						実数	増加率
全 市	281,869	281,384	279,967	280,867	281,502	▲ 367	▲ 0.1%
中央地区	31,906	31,967	31,807	31,928	31,892	▲ 14	▲ 0.0%
小田地区	44,774	44,412	44,185	44,695	44,888	114	0.3%
大庄地区	30,504	30,486	29,976	29,815	29,810	▲ 694	▲ 2.3%
立花地区	66,345	66,381	66,165	66,241	66,534	189	0.3%
武庫地区	46,984	46,811	46,443	46,229	46,136	▲ 848	▲ 1.8%
園田地区	61,356	61,327	61,391	61,959	62,242	886	1.4%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

65歳以上人口（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化（R1-R5年度）	
						実数	増加率
全 市	127,749	127,585	126,887	125,871	125,084	▲ 2,665	▲ 2.1%
中央地区	16,045	16,030	15,927	15,748	15,611	▲ 434	▲ 2.7%
小田地区	21,784	21,637	21,432	21,196	20,953	▲ 831	▲ 3.8%
大庄地区	17,072	16,914	16,708	16,421	16,689	▲ 383	▲ 2.2%
立花地区	29,514	29,549	29,461	29,234	29,084	▲ 430	▲ 1.5%
武庫地区	19,838	19,852	19,842	19,888	19,881	43	0.2%
園田地区	23,496	23,603	23,517	23,384	23,362	▲ 134	▲ 0.6%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 年齢3区分別人口構成比

①全市

令和5年度末における年齢3区分別人口の割合をみると、0～14歳人口は令和元年度末より0.5ポイント低下して11.1%、15～64歳人口は0.7ポイント上昇して61.6%、65歳以上人口は0.2ポイント低下して27.4%となった。

②地区別

令和5年度末の0～14歳人口の割合は、園田地区（12.7%）、武庫地区（12.2%）、小田地区（11.3%）の順に高い。一方で、中央地区（8.2%）が最も低く、1割を下回っている。

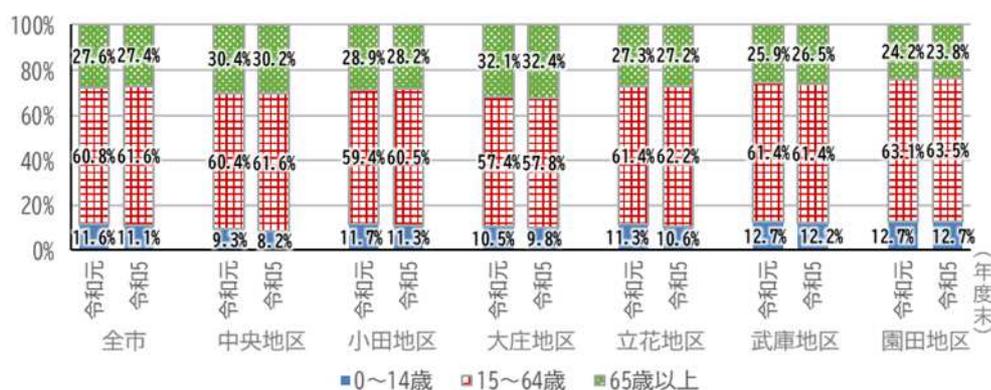
15～64歳人口は、園田地区（63.5%）で最も高く、大庄地区（57.8%）で最も低い。
65歳以上人口は、大庄地区（32.4%）、中央地区（30.2%）では3割を超えている一方、園田地区（23.8%）が6地区のなかで特に低くなっている。

令和元年度末と比べると、0～14歳人口の割合は、園田地区のみ横ばいの12.7%となった。一方、低下した5地区のなかでは、中央地区（▲1.0ポイント）、立花地区（▲0.7ポイント）、大庄地区（▲0.7ポイント）が、全市を超える減少幅となった。

15～64歳人口の割合は、武庫地区が唯一、横ばいとなっている。

65歳以上人口の割合は、武庫地区、大庄地区で上昇し、このうち武庫地区の上昇幅（0.5ポイント）が最も大きい。

年齢3区分別人口の割合の推移

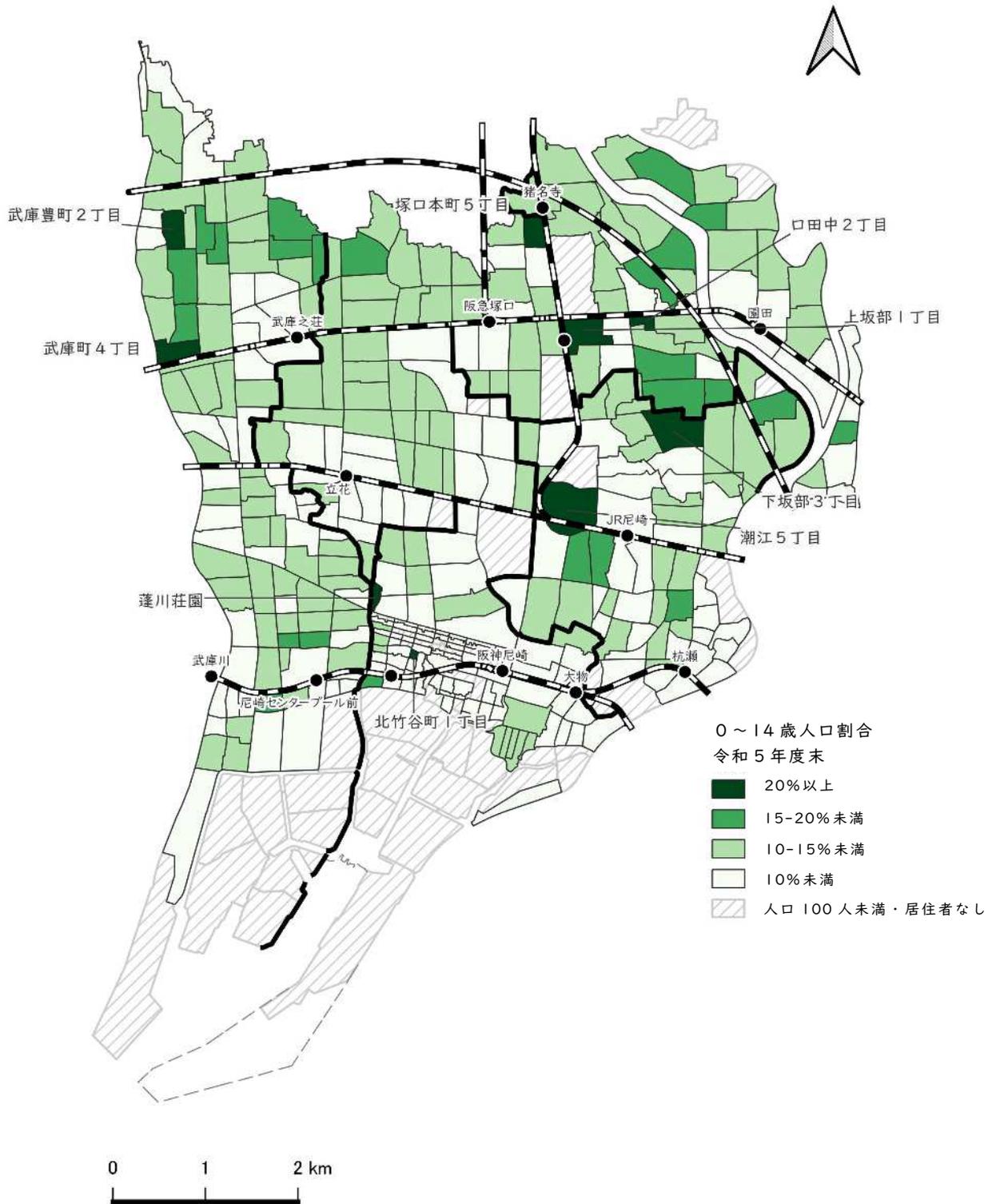


資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

年齢3区分別人口の割合（各年度末現在）

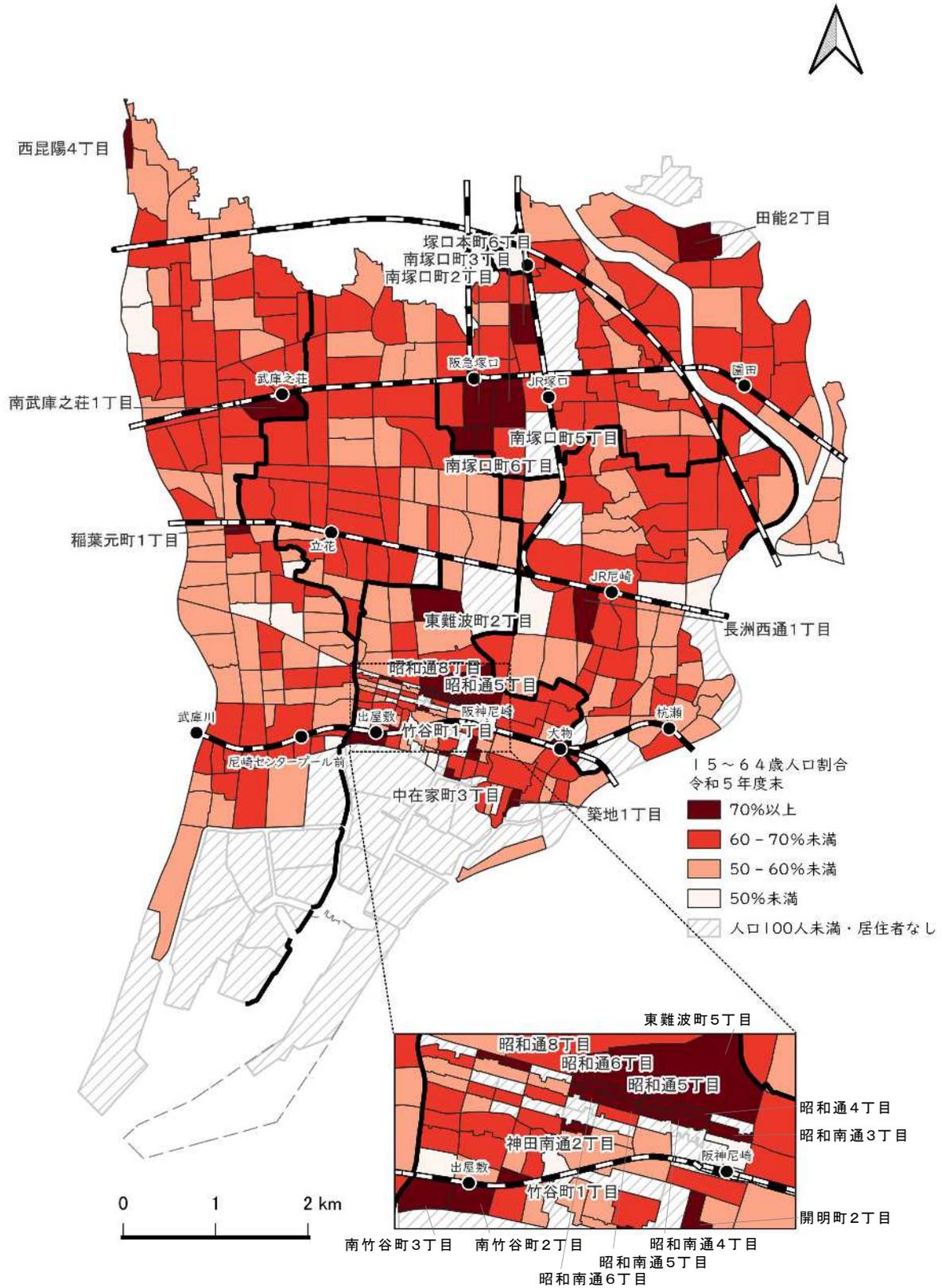
		0～14歳	15～64歳	65歳以上			0～14歳	15～64歳	65歳以上
全市	令和元年度	11.6%	60.8%	27.6%	立花地区	令和元年度	11.3%	61.4%	27.3%
	令和2年度	11.5%	60.9%	27.6%		令和2年度	11.2%	61.5%	27.4%
	令和3年度	11.4%	61.0%	27.6%		令和3年度	11.0%	61.6%	27.4%
	令和4年度	11.3%	61.3%	27.5%		令和4年度	10.8%	61.9%	27.3%
	令和5年度	11.1%	61.6%	27.4%		令和5年度	10.6%	62.2%	27.2%
	割合の変化*	▲ 0.5	0.7	▲ 0.2		割合の変化*	▲ 0.7	0.8	▲ 0.1
	中央地区	令和元年度	9.3%	60.4%		30.4%	武庫地区	令和元年度	12.7%
令和2年度	9.0%	60.6%	30.4%	令和2年度	12.5%	61.4%		26.0%	
令和3年度	8.8%	60.8%	30.4%	令和3年度	12.5%	61.3%		26.2%	
令和4年度	8.5%	61.3%	30.2%	令和4年度	12.3%	61.3%		26.4%	
令和5年度	8.2%	61.6%	30.2%	令和5年度	12.2%	61.4%		26.5%	
割合の変化*	▲ 1.0	1.2	▲ 0.2	割合の変化*	▲ 0.5	0.0		0.5	
小田地区	令和元年度	11.7%	59.4%	28.9%	園田地区	令和元年度	12.7%	63.1%	24.2%
	令和2年度	11.7%	59.4%	28.9%		令和2年度	12.7%	63.1%	24.2%
	令和3年度	11.6%	59.5%	28.9%		令和3年度	12.8%	63.0%	24.2%
	令和4年度	11.4%	60.1%	28.5%		令和4年度	12.8%	63.3%	23.9%
	令和5年度	11.3%	60.5%	28.2%		令和5年度	12.7%	63.5%	23.8%
	割合の変化*	▲ 0.4	1.1	▲ 0.7		割合の変化*	0.0	0.4	▲ 0.4
大庄地区	令和元年度	10.5%	57.4%	32.1%	資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）				
	令和2年度	10.4%	57.6%	32.0%	※割合の変化は、令和5年度から令和元年度を引いた差。				
	令和3年度	10.2%	57.6%	32.1%	※小数点第2位以下は四捨五入				
	令和4年度	10.1%	58.0%	31.9%					
	令和5年度	9.8%	57.8%	32.4%					
	割合の変化*	▲ 0.7	0.4	0.3					

町丁目別 0～14歳人口の割合（令和5年度末）



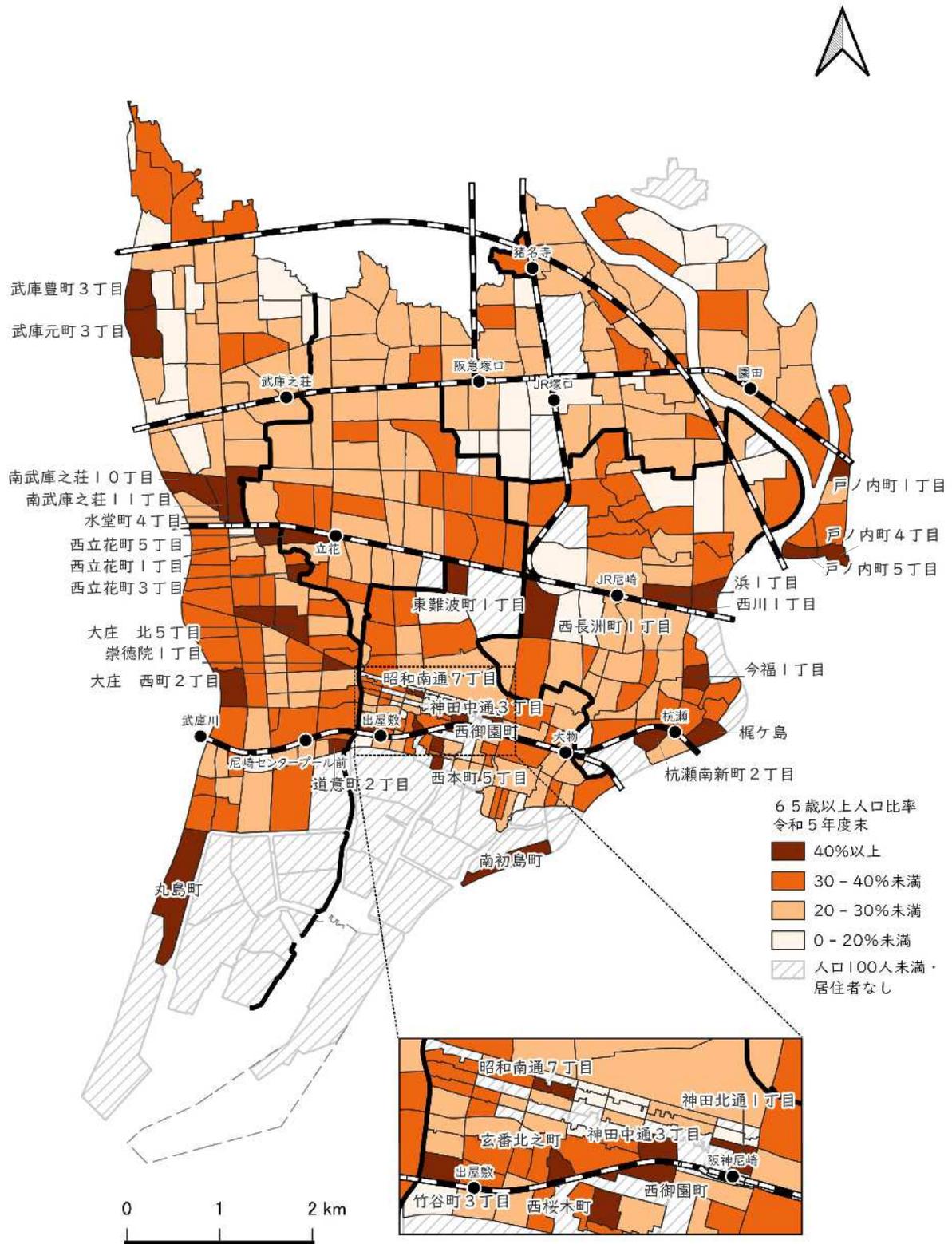
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 15～64歳人口の割合（令和5年度末）



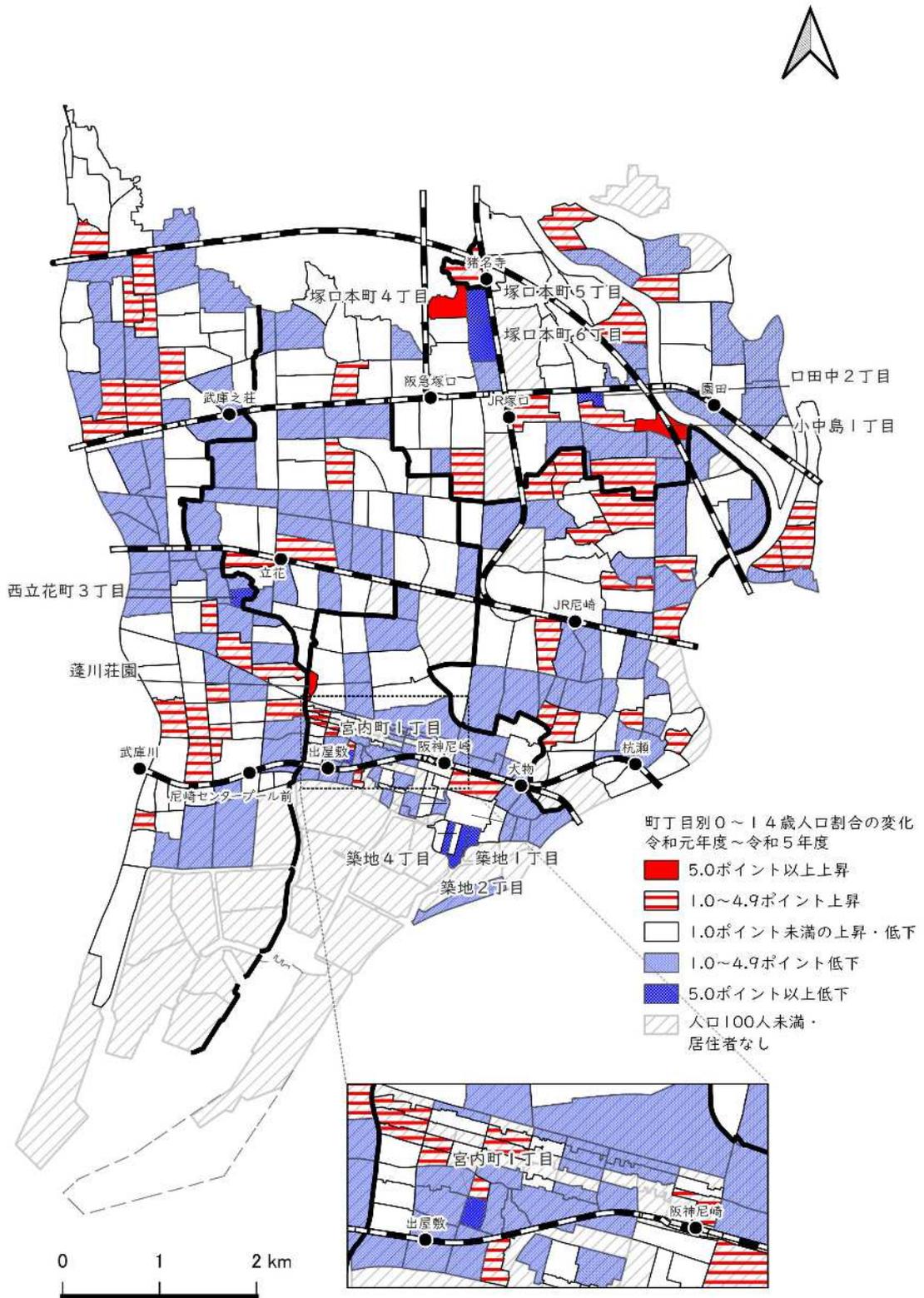
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 65歳以上人口の割合（令和5年度末）



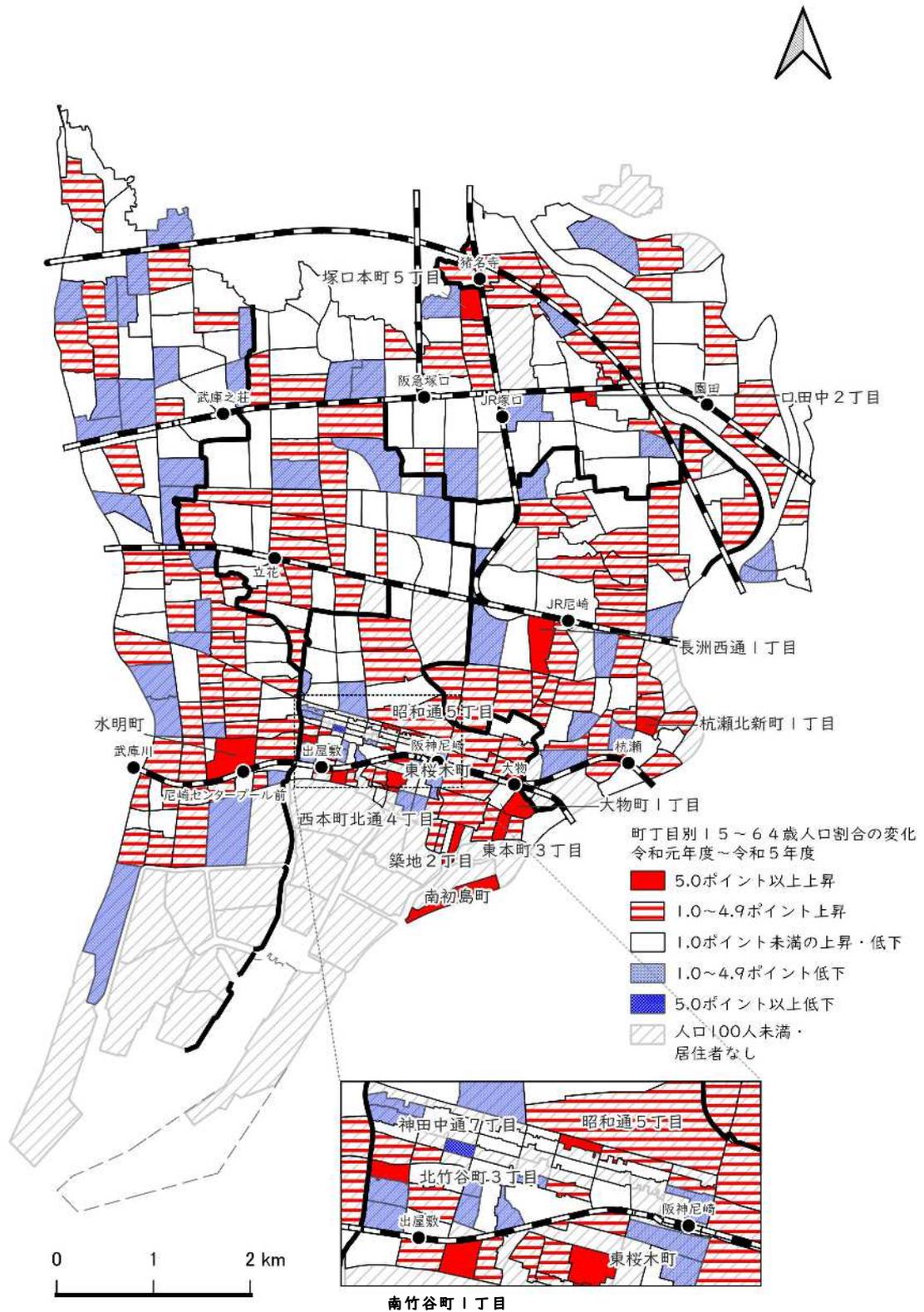
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 0～14歳人口の割合の変化（令和元年～令和5年度末）



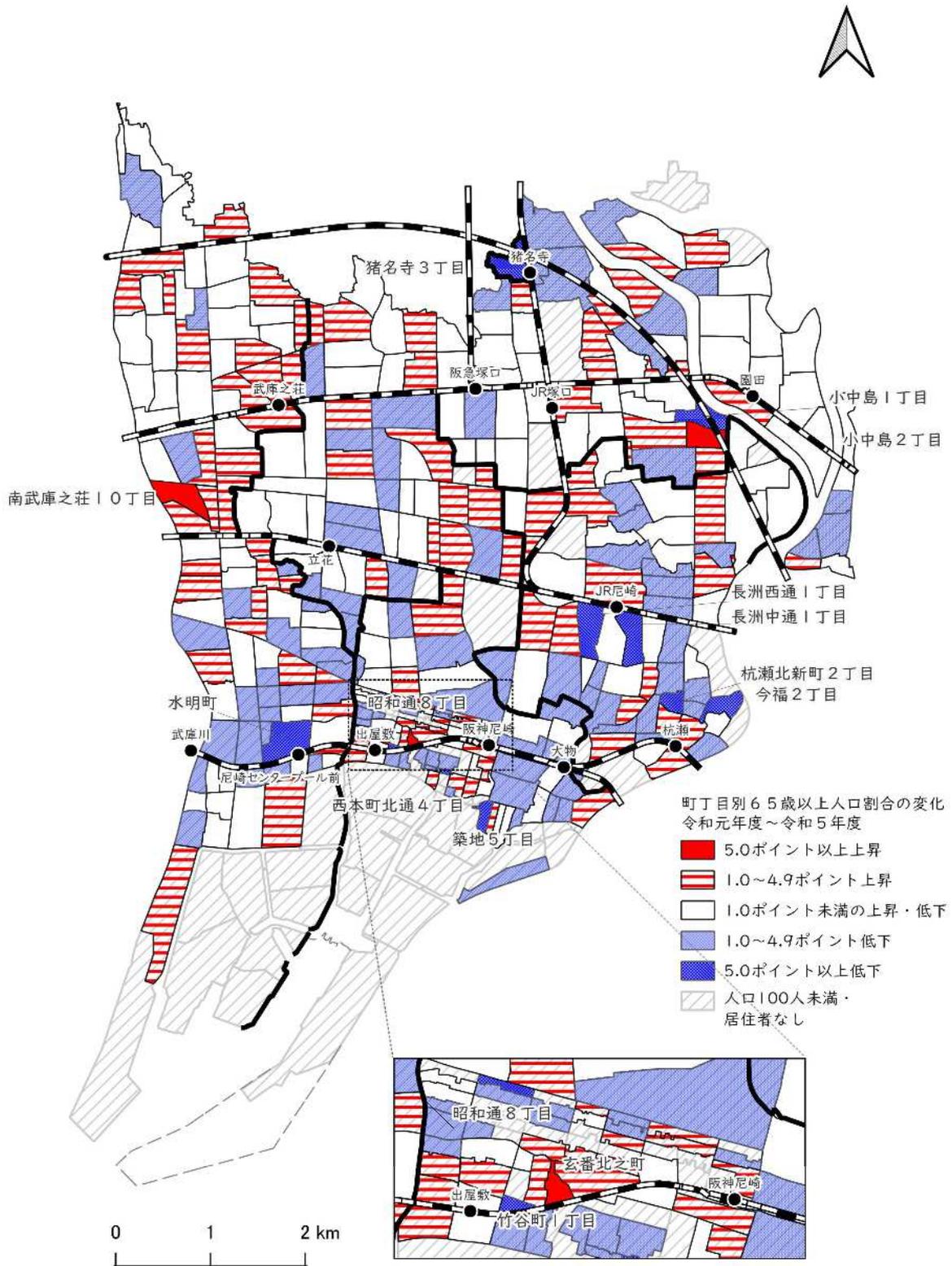
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 15～64歳人口の割合の変化（令和元年～令和5年度末）



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 65歳以上人口の割合の変化（令和元年～令和5年度末）



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

4 在留外国人の人口及び世帯数

(1) 人口

①全市

令和5年度末における在留外国人人口は、13,208人である。前年度末より6.8%の増加（840人）、令和元年度末と比べると10.4%の増加（1,246人）となった。

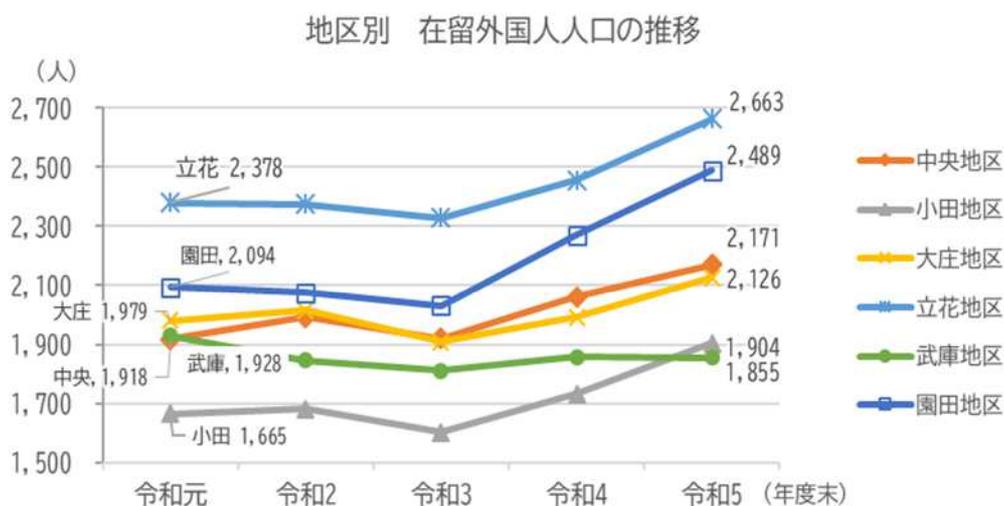


資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

②地区別

令和5年度末における人口は、立花地区（2,663人）、園田地区（2,489人）、大庄地区（2,171人）の順が多い。また、6地区とも前年度末より増加している。

令和元年度末と比べると、武庫地区をのぞく5地区で増加となり、なかでも、園田地区は18.9%増加（395人）、小田地区は14.4%増加（239人）と、増加率が高い。



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

在留外国人人口（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	変化（R1-R5年度）	
						実数	増加率
全 市	11,962	11,986	11,601	12,368	13,208	1,246	10.4%
中央地区	1,918	1,992	1,921	2,061	2,171	253	13.2%
小田地区	1,665	1,682	1,602	1,733	1,904	239	14.4%
大庄地区	1,979	2,016	1,908	1,992	2,126	147	7.4%
立花地区	2,378	2,375	2,328	2,455	2,663	285	12.0%
武庫地区	1,928	1,846	1,811	1,858	1,855	▲ 73	▲ 3.8%
園田地区	2,094	2,075	2,031	2,269	2,489	395	18.9%

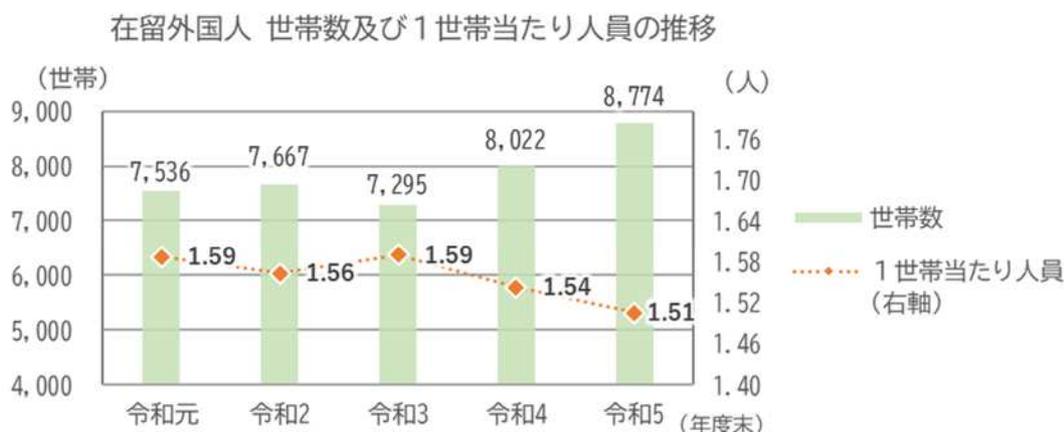
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 世帯数及び1世帯当たり人員

①全市

令和5年度末における在留外国人世帯数は、8,774世帯となり、前年度末と比べて9.4%増加（752世帯）した。また、令和元年度末に比べて16.4%増加（1,238世帯）した。

1世帯当たり人員は、令和5年度末で1.51人と、前年度末より0.03人減少した。また、令和元年度末に比べて0.08人減少した。



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

②地区別

令和5年度末の世帯数は、園田地区（1,719世帯）、立花地区（1,717世帯）、中央地区（1,450世帯）の順が多い。

令和元年度末に比べると6地区とも増加し、園田地区で26.9%増加（364世帯）、小田地区で20.1%増加（215世帯）、中央地区で19.6%増加（238世帯）、立花地区で18.6%増加（269世帯）、大庄地区で11.0%増加（140世帯）と、武庫地区をのぞく5地区で1割以上の増加となった。

1世帯当たり人員は、立花地区・武庫地区（ともに1.55人）、大庄地区（1.51人）の順で高い。最近5年間の推移をみると、6地区とも減少傾向にある。



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

在留外国人世帯数（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化（R1-R5年度）	
						実数	増加率
全 市	7,536	7,667	7,295	8,022	8,774	1,238	16.4%
中央地区	1,212	1,290	1,239	1,361	1,450	238	19.6%
小田地区	1,069	1,101	1,006	1,150	1,284	215	20.1%
大庄地区	1,270	1,315	1,228	1,289	1,410	140	11.0%
立花地区	1,448	1,456	1,423	1,544	1,717	269	18.6%
武庫地区	1,182	1,141	1,115	1,171	1,194	12	1.0%
園田地区	1,355	1,364	1,284	1,507	1,719	364	26.9%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

在留外国人1世帯当たり人員（各年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	変化（R1-R5年度）
全 市	1.59	1.56	1.59	1.54	1.51	▲ 0.08
中央地区	1.58	1.54	1.55	1.51	1.50	▲ 0.09
小田地区	1.56	1.53	1.59	1.51	1.48	▲ 0.08
大庄地区	1.56	1.53	1.55	1.55	1.51	▲ 0.05
立花地区	1.64	1.63	1.64	1.59	1.55	▲ 0.09
武庫地区	1.63	1.62	1.62	1.59	1.55	▲ 0.08
園田地区	1.55	1.52	1.58	1.51	1.45	▲ 0.10

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

II 人口動態

1 人口増減

(1) 全市

令和5年（暦年1年間。以下同様。）は、前年より849人減少した。令和5年の人口増減の内訳をみると、自然動態は2,614人の減少、社会動態は1,765人の増加となった。



資料：尼崎市人口月報

(2) 地区別

令和5年は、園田地区（164人）、小田地区（10人）で人口が増加した。ほか4地区では減少し、減少数は、大庄地区（▲458人）、中央地区（▲304人）、立花地区（▲151人）、武庫地区（▲110人）の順で多かった。



資料：尼崎市人口月報

人口増減数

(単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 市	76	▲ 442	▲ 2,672	▲ 1,253	▲ 849
中央地区	▲ 58	▲ 46	▲ 167	▲ 458	▲ 304
小田地区	▲ 230	▲ 571	▲ 833	105	10
大庄地区	▲ 426	▲ 302	▲ 655	▲ 708	▲ 458
立花地区	▲ 30	29	▲ 546	▲ 385	▲ 151
武庫地区	▲ 93	▲ 51	▲ 409	▲ 473	▲ 110
園田地区	913	499	▲ 62	666	164

資料：尼崎市人口月報

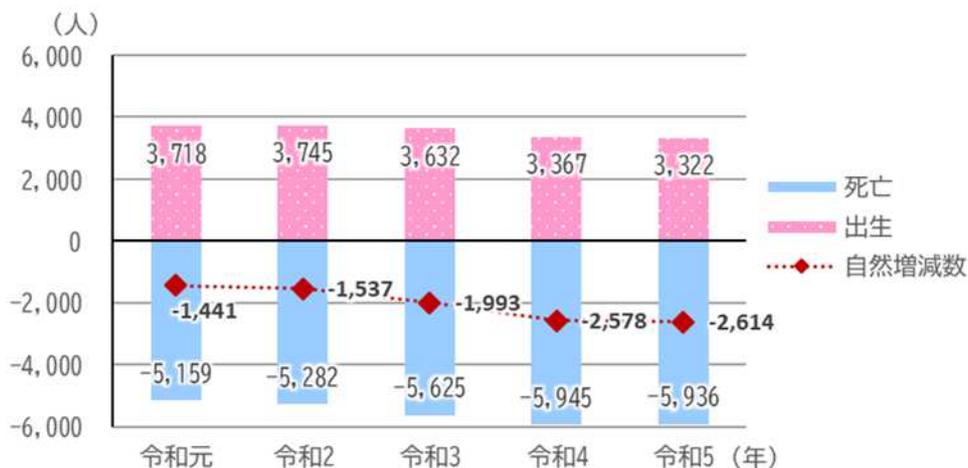
2 自然動態

(1) 全市

尼崎市の出生数は3,600～3,700人台で推移していたが、令和3年から減少に転じ、令和5年は前年よりさらに1.3%減少（▲45人）して3,322人となった。死亡数は増加が続いていたが、令和5年は前年とほぼ横ばいの5,936人となった。

そのため、令和5年は2,614人の自然減となり、減少幅は前年より1.3%拡大（▲36人）した。

尼崎市の自然増減数の推移



資料：尼崎市人口月報

(2) 地区別

令和5年の出生数は、園田地区（871人）、立花地区（778人）、武庫地区（567人）の順となり、北部3地区が多かった。死亡数は、立花地区（1,281人）、園田地区（1,085人）、小田地区（1,061人）の順が多かった。

令和5年は6地区とも死亡数が出生数を上回り、自然減となった。減少数は、大庄地区（▲604人）が最も多く、中央地区、小田地区、立花地区で500人を超えている。最近5年間の推移をみると、園田地区は令和3年より減少に転じ、ほか5地区は減少

が続いており、いずれも減少幅が拡大傾向にある。



出生数 (単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 市	3,718	3,745	3,632	3,367	3,322
中央地区	281	291	297	272	270
小田地区	578	606	571	515	557
大庄地区	384	327	363	320	279
立花地区	831	825	779	775	778
武庫地区	650	706	676	578	567
園田地区	994	990	946	907	871

資料：尼崎市人口月報

死亡数 (単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 市	5,159	5,282	5,625	5,945	5,936
中央地区	713	737	736	834	809
小田地区	948	980	1,037	1,100	1,061
大庄地区	771	726	848	815	883
立花地区	1,115	1,178	1,269	1,284	1,281
武庫地区	733	749	786	808	817
園田地区	879	912	949	1,104	1,085

資料：尼崎市人口月報

自然増減数 (出生数－死亡数) (単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 市	▲ 1,441	▲ 1,537	▲ 1,993	▲ 2,578	▲ 2,614
中央地区	▲ 432	▲ 446	▲ 439	▲ 562	▲ 539
小田地区	▲ 370	▲ 374	▲ 466	▲ 585	▲ 504
大庄地区	▲ 387	▲ 399	▲ 485	▲ 495	▲ 604
立花地区	▲ 284	▲ 353	▲ 490	▲ 509	▲ 503
武庫地区	▲ 83	▲ 43	▲ 110	▲ 230	▲ 250
園田地区	115	78	▲ 3	▲ 197	▲ 214

資料：尼崎市人口月報

3 社会動態

(1) 全市

転入数は、令和3年以前は減少が続いていたが、令和4年は増加に転じ、令和5年はほぼ横ばいの19,555人となった。転出数は、令和4年に18,320人に増加したが、令和5年は前年より2.9%減少（▲530人）して17,790人となった。



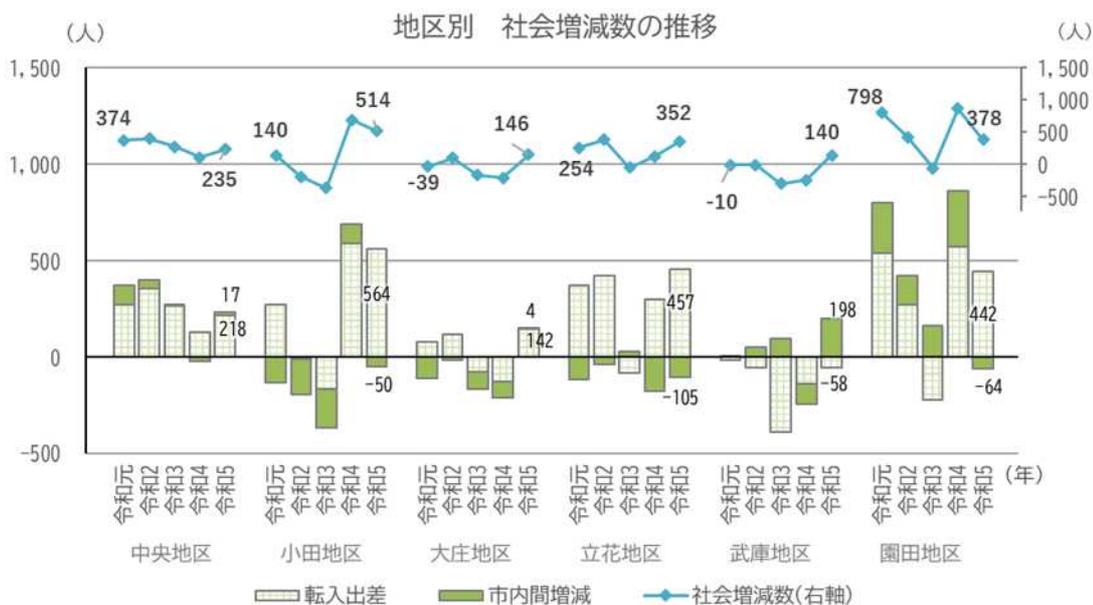
資料：尼崎市人口月報

(2) 地区別

① 社会増減

令和5年は、全ての地区で社会増となった。増加数は小田地区(514人)が最も多く、園田地区(378人)、立花地区(352人)の順で多くなっている。

また、社会増減数の内訳をみると、令和5年は、中央地区、大庄地区は転入超過で市内間増減(市内間転居による増減のこと。)も増加している。小田地区、立花地区、園田地区は転入超過だが、市内間増減は減少、武庫地区は転出超過だが、市内間増減は増加となった。



資料：尼崎市人口月報

②転入出

令和5年の転入数は、園田地区（4,581人）、立花地区（4,557人）、小田地区（3,219人）の順で多くなっている。令和元年からの増減率が大きい地区をみると、小田地区は8.7%増加（258人）、大庄地区は8.2%増加（148人）しており、武庫地区は6.6%減少（▲207人）している。

令和5年の転出数は、園田地区（4,139人）、立花地区（4,100人）、武庫地区（2,970人）の順で多くなっている。令和元年からの増減率が大きい地区をみると、園田地区は5.0%増加（197人）、大庄地区は4.7%増加（81人）しており、武庫地区は5.2%減少（▲164人）している。

転入出差をみると、令和5年は、武庫地区をのぞく5地区で転入超過となり、特に、小田地区では564人、立花地区では457人と転入超過数が多くなっている。



資料：尼崎市人口月報

転入数 (単位: 人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	19,203	18,496	17,397	19,645	19,555	352	1.8%
中央地区	2,327	2,306	2,264	2,272	2,339	12	0.5%
小田地区	2,961	2,703	2,594	3,476	3,219	258	8.7%
大庄地区	1,799	1,807	1,722	1,774	1,947	148	8.2%
立花地区	4,514	4,409	4,028	4,444	4,557	43	1.0%
武庫地区	3,119	2,975	2,795	2,866	2,912	▲207	▲6.6%
園田地区	4,483	4,296	3,994	4,813	4,581	98	2.2%

資料：尼崎市人口月報

転出数 (単位: 人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	17,686	17,401	18,076	18,320	17,790	104	0.6%
中央地区	2,056	1,950	1,995	2,146	2,121	65	3.2%
小田地区	2,689	2,714	2,764	2,886	2,655	▲34	▲1.3%
大庄地区	1,724	1,691	1,802	1,902	1,805	81	4.7%
立花地区	4,141	3,988	4,113	4,144	4,100	▲41	▲1.0%
武庫地区	3,134	3,032	3,186	3,004	2,970	▲164	▲5.2%
園田地区	3,942	4,026	4,216	4,238	4,139	197	5.0%

資料：尼崎市人口月報

転入出差（転入者数－転出者数）（単位：人）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化(R1-R5)
全 市	1,517	1,095	▲ 679	1,325	1,765	248
中央地区	271	356	269	126	218	▲ 53
小田地区	272	▲ 11	▲ 170	590	564	292
大庄地区	75	116	▲ 80	▲ 128	142	67
立花地区	373	421	▲ 85	300	457	84
武庫地区	▲ 15	▲ 57	▲ 391	▲ 138	▲ 58	▲ 43
園田地区	541	270	▲ 222	575	442	▲ 99

資料：尼崎市人口月報

市内間増減（単位：人）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化(R1-R5)
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	103	44	3	▲ 22	17	▲ 86
小田地区	▲ 132	▲ 186	▲ 197	100	▲ 50	82
大庄地区	▲ 114	▲ 19	▲ 90	▲ 85	4	118
立花地区	▲ 119	▲ 39	29	▲ 176	▲ 105	14
武庫地区	5	49	92	▲ 105	198	193
園田地区	257	151	163	288	▲ 64	▲ 321

資料：尼崎市人口月報

社会増減数（転入出差＋市内間増減）（単位：人）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化(R1-R5)
全 市	1,517	1,095	▲ 679	1,325	1,765	248
中央地区	374	400	272	104	235	▲ 139
小田地区	140	▲ 197	▲ 367	690	514	374
大庄地区	▲ 39	97	▲ 170	▲ 213	146	185
立花地区	254	382	▲ 56	124	352	98
武庫地区	▲ 10	▲ 8	▲ 299	▲ 243	140	150
園田地区	798	421	▲ 59	863	378	▲ 420

資料：尼崎市人口月報

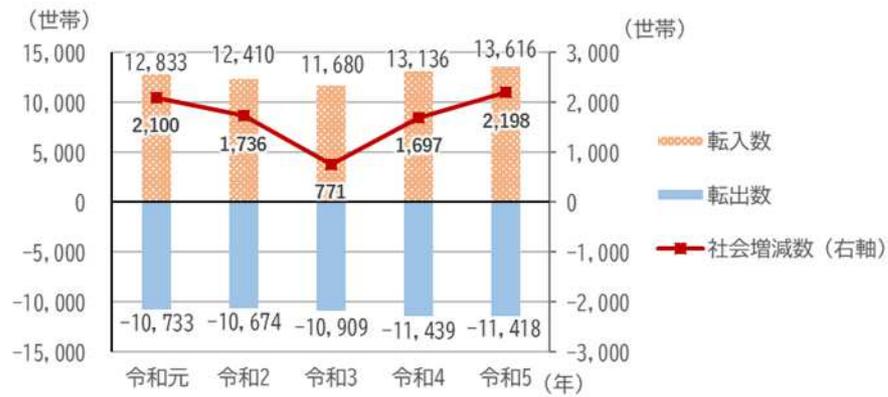
4 単身世帯の社会動態

(1) 全市

転入数は、令和2年から2年連続で減少したが、令和4年から増加に転じ、令和5年は前年より3.7%増加（480世帯）して13,616世帯となった。転出数は令和3年から増加傾向にあったが、令和5年は前年より0.2%減少（▲21世帯）して11,418世帯となった。

社会増減数をみると、社会増が続いており、増加幅は令和2年から2年連続で縮小したが、令和4年は前年より120.1%拡大（926世帯）して1,697世帯となり、令和5年は前年よりさらに29.5%拡大（501世帯）して2,198世帯となった。

尼崎市の単身世帯の社会増減数の推移



資料：尼崎市都市政策課

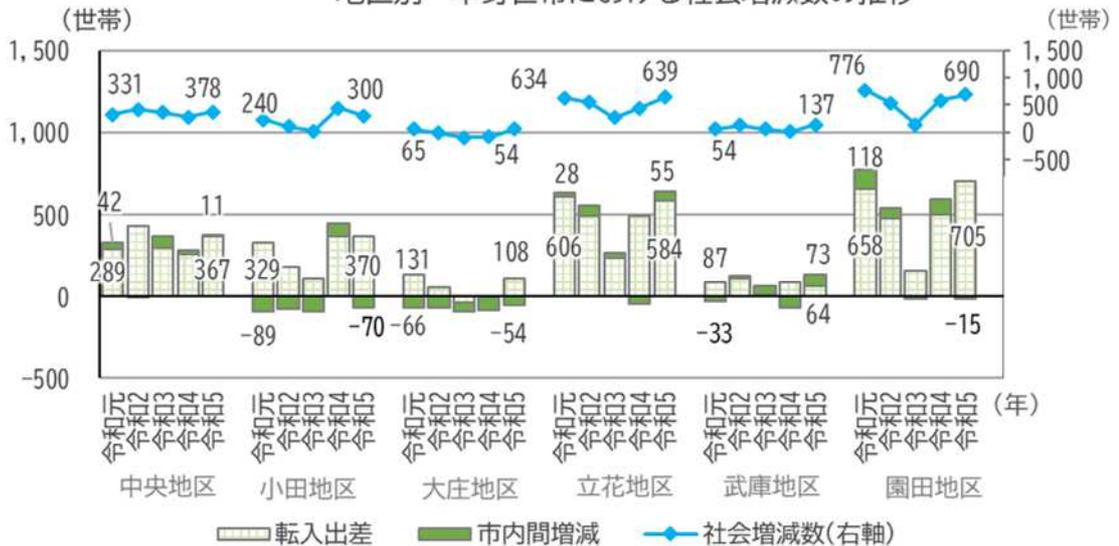
(2) 地区別

① 社会増減

令和5年の社会増減数をみると、すべての地区で社会増となり、増加数は、園田地区(690世帯)、立花地区(639世帯)、中央地区(378世帯)の順で多くなっている。

また、社会増減数の内訳をみると、令和5年は、中央地区、立花地区、武庫地区では転入超過で市内間増減も増加となった。小田地区、大庄地区、園田地区では転入超過だが、市内間増減は減少している。

地区別 単身世帯における社会増減数の推移



資料：尼崎市都市政策課

②転入出

令和5年の転入数は、園田地区(3,193世帯)、立花地区(3,188世帯)、小田地区(2,183世帯)の順で多く、また、6地区とも、令和元年に比べ増加している。

令和5年の転出数についても、立花地区(2,604世帯)、園田地区(2,488世帯)、小田地区(1,813世帯)の順で多く、また、6地区とも、令和元年に比べ増加している。

転入出差をみると、令和5年は、すべての地区で転入超過となった。転入超過数は、園田地区(705世帯)、立花地区(584世帯)、小田地区(370世帯)の順で多くなっている。



単身世帯の転入数

(単位: 世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	12,833	12,410	11,680	13,136	13,616	783	6.1%
中央地区	1,741	1,801	1,730	1,835	1,912	171	9.8%
小田地区	2,014	1,802	1,802	2,151	2,183	169	8.4%
大庄地区	1,252	1,177	1,104	1,223	1,368	116	9.3%
立花地区	3,137	3,043	2,798	3,160	3,188	51	1.6%
武庫地区	1,763	1,736	1,694	1,757	1,772	9	0.5%
園田地区	2,926	2,851	2,552	3,010	3,193	267	9.1%

資料：尼崎市都市政策課

単身世帯の転出数

(単位: 世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	10,733	10,674	10,909	11,439	11,418	685	6.4%
中央地区	1,452	1,374	1,436	1,573	1,545	93	6.4%
小田地区	1,685	1,624	1,688	1,784	1,813	128	7.6%
大庄地区	1,121	1,124	1,142	1,229	1,260	139	12.4%
立花地区	2,531	2,553	2,564	2,669	2,604	73	2.9%
武庫地区	1,676	1,625	1,681	1,673	1,708	32	1.9%
園田地区	2,268	2,374	2,398	2,511	2,488	220	9.7%

資料：尼崎市都市政策課

単身世帯の転入出差（転入－転出）

（単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)
全 市	2,100	1,736	771	1,697	2,198	98
中央地区	289	427	294	262	367	78
小田地区	329	178	114	367	370	41
大庄地区	131	53	▲ 38	▲ 6	108	▲ 23
立花地区	606	490	234	491	584	▲ 22
武庫地区	87	111	13	84	64	▲ 23
園田地区	658	477	154	499	705	47

資料：尼崎市都市政策課

単身世帯の市内転居（転居元）

（単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	7,576	7,340	7,403	7,274	7,175	▲ 401	▲ 5.3%
中央地区	1,105	1,138	1,104	1,076	1,125	20	1.8%
小田地区	1,223	1,161	1,156	1,102	1,182	▲ 41	▲ 3.4%
大庄地区	857	868	875	841	813	▲ 44	▲ 5.1%
立花地区	1,680	1,630	1,672	1,714	1,647	▲ 33	▲ 2.0%
武庫地区	1,218	1,095	1,130	1,045	929	▲ 289	▲ 23.7%
園田地区	1,493	1,448	1,466	1,496	1,479	▲ 14	▲ 0.9%

資料：尼崎市都市政策課

単身世帯の市内転居（転居先）

（単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	7,576	7,340	7,403	7,274	7,175	▲ 401	▲ 5.3%
中央地区	1,147	1,136	1,179	1,095	1,136	▲ 11	▲ 1.0%
小田地区	1,134	1,088	1,067	1,182	1,112	▲ 22	▲ 1.9%
大庄地区	791	801	820	766	759	▲ 32	▲ 4.0%
立花地区	1,708	1,692	1,705	1,666	1,702	▲ 6	▲ 0.4%
武庫地区	1,185	1,113	1,180	978	1,002	▲ 183	▲ 15.4%
園田地区	1,611	1,510	1,452	1,587	1,464	▲ 147	▲ 9.1%

資料：尼崎市都市政策課

単身世帯の市内間増減

（単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	42	▲ 2	75	19	11	▲ 31
小田地区	▲ 89	▲ 73	▲ 89	80	▲ 70	19
大庄地区	▲ 66	▲ 67	▲ 55	▲ 75	▲ 54	12
立花地区	28	62	33	▲ 48	55	27
武庫地区	▲ 33	18	50	▲ 67	73	106
園田地区	118	62	▲ 14	91	▲ 15	▲ 133

資料：尼崎市都市政策課

単身世帯の社会増減数（転入出差＋市内間増減）

（単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)
全 市	2,100	1,736	771	1,697	2,198	98
中央地区	331	425	369	281	378	47
小田地区	240	105	25	447	300	60
大庄地区	65	▲ 14	▲ 93	▲ 81	54	▲ 11
立花地区	634	552	267	443	639	5
武庫地区	54	129	63	17	137	83
園田地区	776	539	140	590	690	▲ 86

資料：尼崎市都市政策課

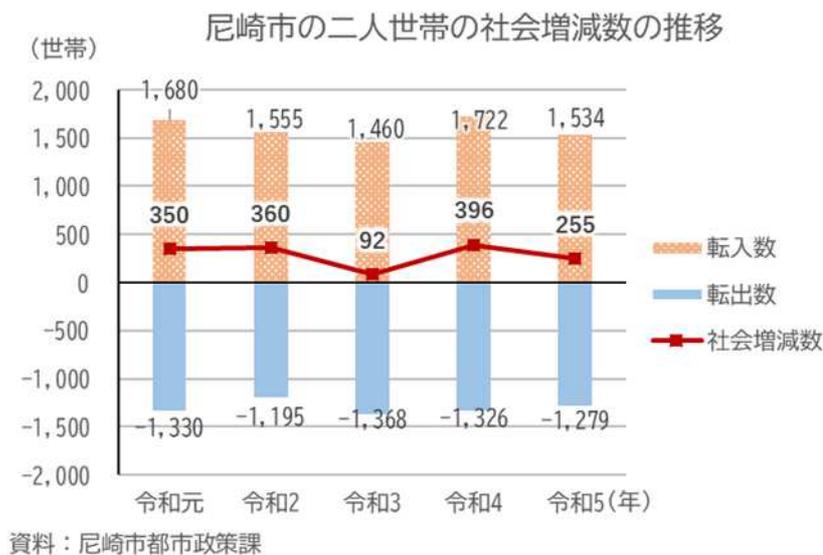
5 二人世帯の社会動態

(1) 全市

転入数は、令和2年より減少が続いていたが、令和4年には増加に転じたものの、令和5年は再び前年より10.9%減少（188世帯）して1,534世帯となった。

転出数は、令和5年は前年より3.5%減少（▲47世帯）して1,279世帯となった。

社会増減数をみると社会増が続いているが、令和5年は前年に比べ35.6%減少（▲141世帯）して255世帯となった。

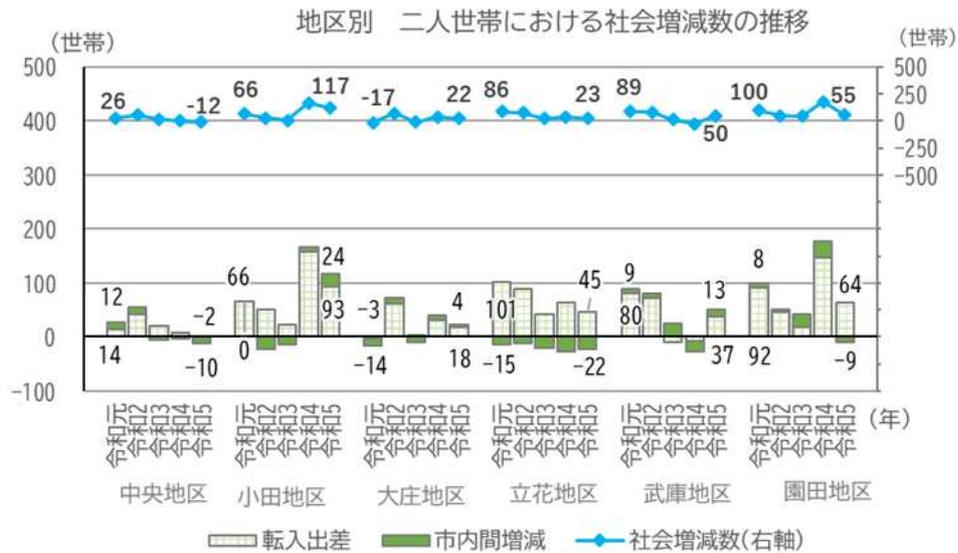


(2) 地区別

① 社会増減

令和5年の社会増減数をみると、中央地区（▲12世帯）は社会減、ほか5地区は社会増となり、小田地区（117世帯）、園田地区（55世帯）、武庫地区（50世帯）の順で多くなっている。最近5年間の推移をみると、小田地区、立花地区、園田地区で社会増が続いている。令和5年は前年と比べると、小田地区で77世帯の増加となったが、小田地区をのぞく5地区で減少となり、園田地区では123世帯の減少となった。

社会増減数の内訳をみると、令和5年は、小田地区、大庄地区、武庫地区では転入超過で市内間増減も増加しており、立花地区、園田地区では、転入超過だが、市内間増減は減少している。中央地区は転出超過で市内間増減も減少となった。

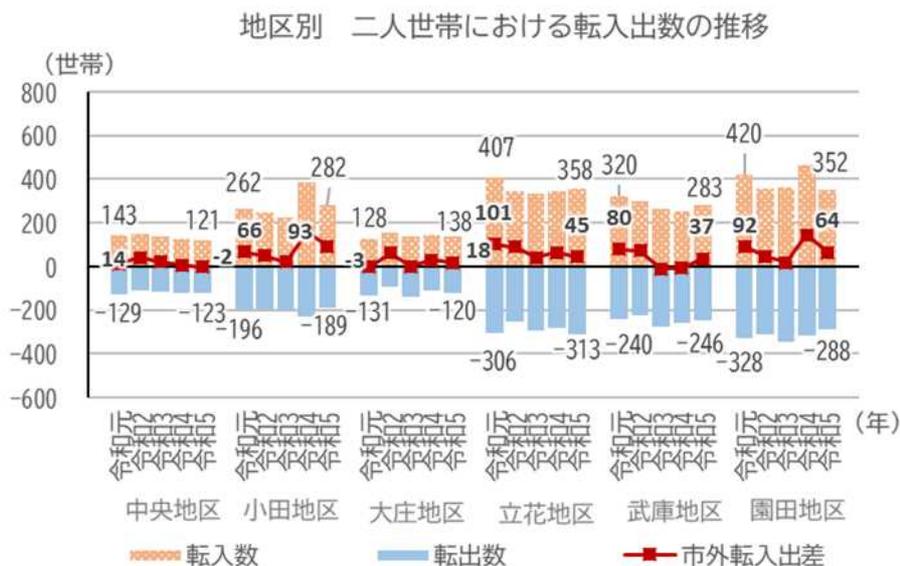


②転入出

令和5年の二人世帯の転入数は、立花地区（358世帯）、園田地区（352世帯）、武庫地区（283世帯）の順で多くなっている。令和5年は前年に比べて、立花地区、武庫地区で増加したが、その他の4地区は転入数が減少した。令和元年と比べると小田地区と大庄地区で増加している。

転出数は、立花地区（313世帯）、園田地区（288世帯）、武庫地区（246世帯）の順で多くなっている。令和5年は前年に比べて、中央地区、大庄地区、立花地区で増加したが、その他の3地区は転出数が減少した。令和元年と比べると立花地区と武庫地区で増加している。

転入出差をみると、令和5年は、中央地区をのぞく5地区で転入超過となった。このうち、武庫地区（37世帯）で転入超過数が増加した。



二人世帯の転入数

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,680	1,555	1,460	1,722	1,534	▲ 146	▲ 8.7%
中央地区	143	152	138	126	121	▲ 22	▲ 15.4%
小田地区	262	246	224	387	282	20	7.6%
大庄地区	128	157	138	142	138	10	7.8%
立花地区	407	345	333	348	358	▲ 49	▲ 12.0%
武庫地区	320	297	266	254	283	▲ 37	▲ 11.6%
園田地区	420	358	361	465	352	▲ 68	▲ 16.2%

資料：尼崎市都市政策課

二人世帯の転出数

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,330	1,195	1,368	1,326	1,279	▲ 51	▲ 3.8%
中央地区	129	111	118	119	123	▲ 6	▲ 4.7%
小田地区	196	196	202	230	189	▲ 7	▲ 3.6%
大庄地区	131	95	136	112	120	▲ 11	▲ 8.4%
立花地区	306	256	292	284	313	7	2.3%
武庫地区	240	225	276	262	246	6	2.5%
園田地区	328	312	344	319	288	▲ 40	▲ 12.2%

資料：尼崎市都市政策課

二人世帯の転入出差 (転入－転出)

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)
全 市	350	360	92	396	255	▲ 95
中央地区	14	41	20	7	▲ 2	▲ 16
小田地区	66	50	22	157	93	27
大庄地区	▲ 3	62	2	30	18	21
立花地区	101	89	41	64	45	▲ 56
武庫地区	80	72	▲ 10	▲ 8	37	▲ 43
園田地区	92	46	17	146	64	▲ 28

資料：尼崎市都市政策課

二人世帯の市内転居 (転居元)

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,959	1,835	1,756	1,813	1,629	▲ 330	▲ 16.8%
中央地区	202	229	233	208	189	▲ 13	▲ 6.4%
小田地区	325	304	239	344	256	▲ 69	▲ 21.2%
大庄地区	192	193	199	195	162	▲ 30	▲ 15.6%
立花地区	450	421	421	415	409	▲ 41	▲ 9.1%
武庫地区	392	311	325	286	270	▲ 122	▲ 31.1%
園田地区	398	377	339	365	343	▲ 55	▲ 13.8%

資料：尼崎市都市政策課

二人世帯の市内転居 (転居先)

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,959	1,835	1,756	1,813	1,629	▲ 330	▲ 16.8%
中央地区	214	242	228	204	179	▲ 35	▲ 16.4%
小田地区	325	281	225	353	280	▲ 45	▲ 13.8%
大庄地区	178	202	190	204	166	▲ 12	▲ 6.7%
立花地区	435	409	400	388	387	▲ 48	▲ 11.0%
武庫地区	401	319	349	267	283	▲ 118	▲ 29.4%
園田地区	406	382	364	397	334	▲ 72	▲ 17.7%

資料：尼崎市都市政策課

二人世帯の市内間増減

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	12	13	▲ 5	▲ 4	▲ 10	▲ 22
小田地区	0	▲ 23	▲ 14	9	24	24
大庄地区	▲ 14	9	▲ 9	9	4	18
立花地区	▲ 15	▲ 12	▲ 21	▲ 27	▲ 22	▲ 7
武庫地区	9	8	24	▲ 19	13	4
園田地区	8	5	25	32	▲ 9	▲ 17

資料：尼崎市都市政策課

二人世帯の社会増減数（転入出差＋市内間増減）

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)
全 市	350	360	92	396	255	▲ 95
中央地区	26	54	15	3	▲ 12	▲ 38
小田地区	66	27	8	166	117	51
大庄地区	▲ 17	71	▲ 7	39	22	39
立花地区	86	77	20	37	23	▲ 63
武庫地区	89	80	14	▲ 27	50	▲ 39
園田地区	100	51	42	178	55	▲ 45

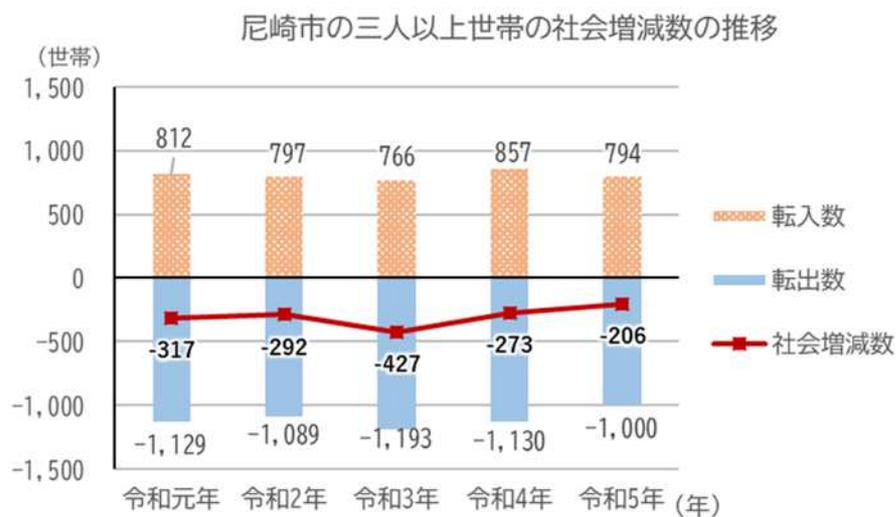
資料：尼崎市都市政策課

6 三人以上世帯の社会動態

(1) 全市

転入数は、令和5年は前年より7.4%減少（▲63世帯）して794世帯となった。転出数は、令和3年から減少が続いており、令和5年は11.5%減少（▲130世帯）したものの1,000世帯となった。

社会増減数をみると、令和5年は転入数、転出数がともに減少した結果、206世帯の社会減となり、減少幅が縮小した。



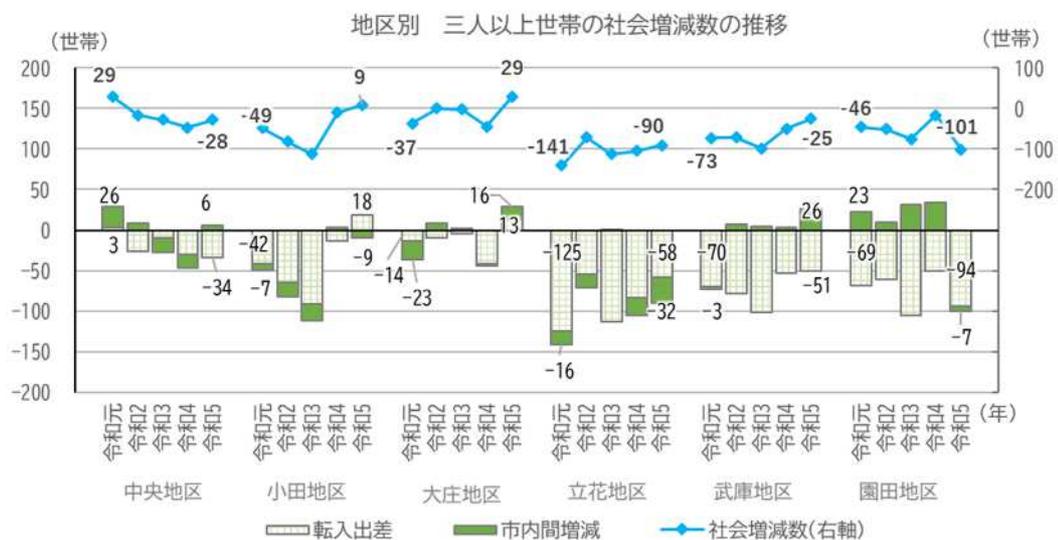
資料：尼崎市都市政策課

(2) 地区別

① 社会増減

令和5年の社会増減数をみると、小田地区、大庄地区をのぞいた4地区で社会減となり、園田地区(101世帯)、立花地区(90世帯)、中央地区(28世帯)の順で減少している。最近5年間の推移をみると、中央地区は令和2年以降、社会減となり、ほか5地区も社会減の傾向が続いていたが、令和5年に小田地区、大庄地区で社会増に転じた。このうち、中央地区、武庫地区では、令和5年の減少幅が前年より縮小した。

また、令和5年の社会増減数の内訳をみると、大庄地区では転入超過で市内間増減も増加しており、小田地区では転入超過だが、市内間増減は減少している。中央地区、武庫地区では、転出超過だが、市内間増減は増加している。立花地区、園田地区では転出超過であり、市内間増減も減少となった。

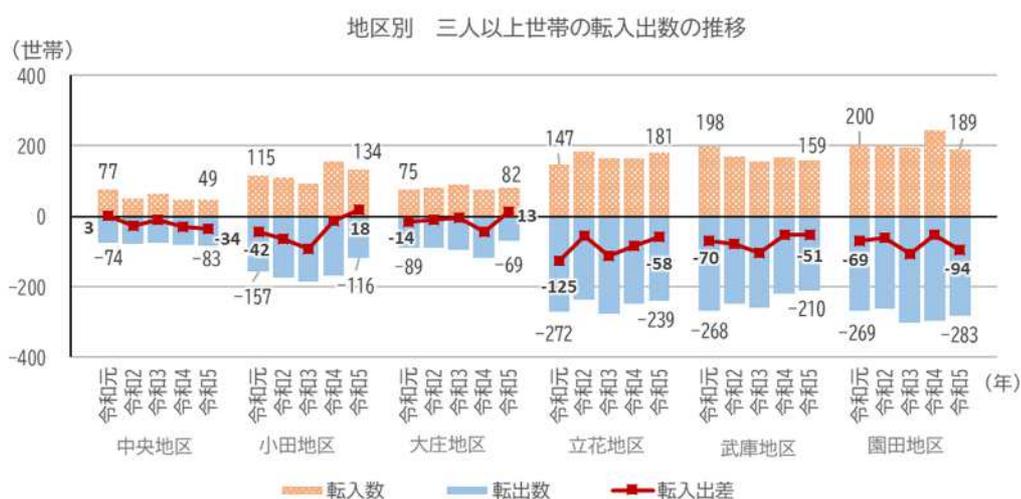


②転入出

令和5年の三人以上世帯の転入数は、園田地区（189世帯）、立花地区（181世帯）、武庫地区（159世帯）の順で多くなっている。また、前年と比べると、小田地区、武庫地区、園田地区は減少し、令和元年と比べると、小田地区、大庄地区、立花地区で増加し、ほか3地区では減少した。

令和5年の転出数は、園田地区（283世帯）、立花地区（239世帯）、武庫地区（210世帯）の順で多くなっている。また、前年と比べると、中央地区をのぞく5地区で減少し、令和元年と比べると、中央地区、園田地区で増加し、ほか4地区では減少した。

転入出差をみると、令和5年は小田地区、大庄地区で転入超過となったが、ほか4地区では転出超過となった。転入超過数は小田地区（▲18世帯）、大庄地区（▲13地区）であり、転出超過数は園田地区（▲94世帯）、立花地区（▲58世帯）、武庫地区（▲51世帯）の順で多くなっている。



資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の転入数

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	812	797	766	857	794	▲ 18	▲ 2.2%
中央地区	77	51	65	49	49	▲ 28	▲ 36.4%
小田地区	115	111	94	157	134	19	16.5%
大庄地区	75	81	90	76	82	7	9.3%
立花地区	147	183	163	164	181	34	23.1%
武庫地区	198	170	157	166	159	▲ 39	▲ 19.7%
園田地区	200	201	197	245	189	▲ 11	▲ 5.5%

資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の転出数

(単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,129	1,089	1,193	1,130	1,000	▲ 129	▲ 11.4%
中央地区	74	77	75	79	83	9	12.2%
小田地区	157	175	186	170	116	▲ 41	▲ 26.1%
大庄地区	89	90	94	118	69	▲ 20	▲ 22.5%
立花地区	272	237	276	248	239	▲ 33	▲ 12.1%
武庫地区	268	248	259	219	210	▲ 58	▲ 21.6%
園田地区	269	262	303	296	283	14	5.2%

資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の転入出差（転入－転出） （単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	▲ 317	▲ 292	▲ 427	▲ 273	▲ 206	▲ 264	▲ 13.6%
中央地区	3	▲ 26	▲ 10	▲ 30	▲ 34	▲ 32	▲ 19.5%
小田地区	▲ 42	▲ 64	▲ 92	▲ 13	18	▲ 58	▲ 20.3%
大庄地区	▲ 14	▲ 9	▲ 4	▲ 42	13	▲ 38	▲ 18.6%
立花地区	▲ 125	▲ 54	▲ 113	▲ 84	▲ 58	▲ 78	▲ 16.6%
武庫地区	▲ 70	▲ 78	▲ 102	▲ 53	▲ 51	▲ 60	▲ 15.2%
園田地区	▲ 69	▲ 61	▲ 106	▲ 51	▲ 94	2	0.5%

資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の市内転居（転居元） （単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,936	1,929	1,809	1,911	1,672	▲ 264	▲ 13.6%
中央地区	164	182	171	194	132	▲ 32	▲ 19.5%
小田地区	286	297	246	325	228	▲ 58	▲ 20.3%
大庄地区	204	225	172	187	166	▲ 38	▲ 18.6%
立花地区	470	446	423	431	392	▲ 78	▲ 16.6%
武庫地区	396	336	382	312	336	▲ 60	▲ 15.2%
園田地区	416	443	415	462	418	2	0.5%

資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の市内転居（転居先） （単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	1,936	1,929	1,809	1,911	1,672	▲ 264	▲ 13.6%
中央地区	190	191	153	177	138	▲ 52	▲ 27.4%
小田地区	279	279	226	328	219	▲ 60	▲ 21.5%
大庄地区	181	234	174	185	182	1	0.6%
立花地区	454	429	424	410	360	▲ 94	▲ 20.7%
武庫地区	393	343	386	315	362	▲ 31	▲ 7.9%
園田地区	439	453	446	496	411	▲ 28	▲ 6.4%

資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の市内間増減 （単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	0	0	0	0	0	0	0
中央地区	26	9	▲ 18	▲ 17	6	▲ 20	▲ 27.4%
小田地区	▲ 7	▲ 18	▲ 20	3	▲ 9	▲ 2	▲ 21.5%
大庄地区	▲ 23	9	2	▲ 2	16	39	0.6%
立花地区	▲ 16	▲ 17	1	▲ 21	▲ 32	▲ 16	▲ 20.7%
武庫地区	▲ 3	7	4	3	26	▲ 31	▲ 7.9%
園田地区	23	10	31	34	▲ 7	▲ 30	▲ 6.4%

資料：尼崎市都市政策課

三人以上世帯の社会増減数（転入出差＋市内間増減） （単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5)	
						実数	増加率
全 市	▲ 317	▲ 292	▲ 427	▲ 273	▲ 206	▲ 264	▲ 13.6%
中央地区	29	▲ 17	▲ 28	▲ 47	▲ 28	▲ 32	▲ 19.5%
小田地区	▲ 49	▲ 82	▲ 112	▲ 10	9	▲ 58	▲ 20.3%
大庄地区	▲ 37	0	▲ 2	▲ 44	29	▲ 38	▲ 18.6%
立花地区	▲ 141	▲ 71	▲ 112	▲ 105	▲ 90	▲ 78	▲ 16.6%
武庫地区	▲ 73	▲ 71	▲ 98	▲ 50	▲ 25	▲ 60	▲ 15.2%
園田地区	▲ 46	▲ 51	▲ 75	▲ 17	▲ 101	2	0.5%

資料：尼崎市都市政策課

7 年齢別及び転入元・転出先別の移動数

(1) 年齢別の移動数

令和5年における年齢10歳階級別の転入出をみると、20～29歳は転入数が7,895人、転出数が6,308人とともに突出して多く、次いで、30～39歳で転入数が3,986人、転出数が3,882人と多くなっている。

社会増減数をみると、令和5年は、20～29歳（1,587人）、10～19歳（105人）、30～39歳（104人）、50～59歳（93人）の順で社会増となっている。一方で、0～9歳（▲368人）、60歳以上（▲145人）、40～49歳（▲93人）の順で社会減となっている。

社会増減数を令和元年と比べると、両年とも社会増である20～29歳は増加幅が213人、10～19歳では108人縮小した。40～49歳及び60歳以上はともに減少幅が拡大した。50～59歳は増加幅が50人の拡大となった。両年とも社会減の0～9歳では、減少幅が227人の縮小となった。また、30～39歳は社会減から社会増に転じた。



(2) 転入元・転出先別の移動数

主な転入元別に転入数をみると、令和5年は、大阪市（2,879人）、神戸市（1,937人）、東京圏（1,453人）の順が多い。令和元年と比べると、転入数が増加したのは、神戸市（151人）、大阪市（150人）、明石市（51人）、西宮市（21人）、豊中市（10人）で、減少したのは、伊丹市（▲86人）、東京圏（▲83人）、宝塚市（▲17人）である。

主な転出先別の転出数は、令和5年は、大阪市（2,745人）、東京圏（2,020人）、西宮市（1,353人）の順が多い。令和元年と比べると、転出数が増加したのは、大阪市（21人）、明石市（67人）、豊中市（40人）で、転出数が減少したのは、東京圏（▲278人）、伊丹市（▲120人）、神戸市（▲28人）、宝塚市（▲24人）、西宮市（▲13人）である。

社会増減数をみると、令和5年に転入超過となったのは、神戸市（692人）、大阪市（134人）、西宮市（121人）である。また、令和元年に転入超過であった豊中市は転出超過となった。

尼崎市の主な転入元・転出先別 社会増減数



資料：尼崎市都市政策課

10歳階級別転入元別 転入数

(単位：人)

令和元年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	17,644	951	871	7,635	3,971	1,778	1,046	1,390	2
神戸市	1,786	70	72	825	422	169	99	129	0
明石市	195	5	10	97	58	8	7	10	0
西宮市	1,453	99	67	546	307	165	100	169	0
伊丹市	1,049	63	62	382	221	113	75	133	0
宝塚市	410	9	22	156	90	48	29	56	0
大阪市	2,729	152	93	1,079	758	273	163	211	0
豊中市	434	20	21	156	99	59	31	48	0
東京圏	1,536	117	33	643	362	203	119	59	0
その他	8,052	416	491	3,751	1,654	740	423	575	2
令和2年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	17,395	945	795	7,528	3,821	1,799	1,130	1,374	3
神戸市	1,790	62	65	821	445	152	100	145	0
明石市	219	12	11	105	54	15	11	11	0
西宮市	1,471	82	70	533	329	161	110	186	0
伊丹市	990	64	43	349	215	120	72	127	0
宝塚市	416	11	22	174	76	36	39	58	0
大阪市	2,733	157	79	1,090	746	312	182	167	0
豊中市	400	22	19	146	80	69	25	39	0
東京圏	1,561	139	66	616	348	204	117	71	0
その他	7,815	396	420	3,694	1,528	730	474	570	3
令和3年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	16,751	959	670	7,604	3,658	1,540	1,062	1,258	0
神戸市	1,708	76	50	822	421	138	91	110	0
明石市	266	11	14	126	65	25	6	19	0
西宮市	1,487	88	65	567	338	152	121	156	0
伊丹市	993	66	45	377	216	99	67	123	0
宝塚市	496	24	22	209	109	40	35	57	0
大阪市	2,643	170	61	1,116	734	255	155	152	0
豊中市	402	24	20	159	92	40	30	37	0
東京圏	1,423	110	35	604	308	177	131	58	0
その他	7,336	390	358	3,624	1,375	614	426	546	0
令和4年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	17,975	995	694	7,913	4,028	1,639	1,287	1,418	1
神戸市	1,949	80	82	910	465	168	99	145	0
明石市	240	12	15	114	58	19	17	5	0
西宮市	1,486	75	55	543	299	164	132	218	0
伊丹市	1,030	46	37	411	225	109	91	111	0
宝塚市	442	24	17	164	102	48	40	47	0
大阪市	2,946	175	76	1,274	802	269	192	158	0
豊中市	503	34	19	183	132	45	32	58	0
東京圏	1,595	135	31	668	365	158	164	74	0
その他	7,784	414	362	3,646	1,580	659	520	602	1
令和5年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	17,728	958	736	7,895	3,986	1,507	1,121	1,524	1
神戸市	1,937	102	73	904	451	153	108	146	0
明石市	246	13	16	108	58	20	15	16	0
西宮市	1,474	98	73	510	318	151	104	220	0
伊丹市	963	54	28	381	209	88	66	137	0
宝塚市	393	17	26	159	88	34	20	49	0
大阪市	2,879	157	89	1,211	815	251	158	198	0
豊中市	443	30	4	180	108	29	39	53	0
東京圏	1,453	117	47	609	325	154	129	72	0
その他	7,940	370	380	3,833	1,614	627	482	633	1

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注) 各年とも外国人の移動を含む。

10歳階級別転出先別 転出数

(単位：人)

令和元年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	16,421	1,546	658	5,832	4,061	1,847	1,003	1,461	13
神戸市	1,273	115	56	429	361	114	73	125	0
明石市	215	25	6	84	60	18	7	15	0
西宮市	1,366	177	68	374	339	160	87	161	0
伊丹市	1,089	165	34	301	283	117	66	123	0
宝塚市	506	72	15	130	135	66	35	53	0
大阪市	2,724	123	93	1,080	715	298	159	256	0
豊中市	414	39	14	123	111	51	37	39	0
東京圏	2,298	205	89	975	537	265	149	78	0
その他	6,536	625	283	2,336	1,520	758	390	611	13
令和2年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	16,467	1,514	624	6,219	3,972	1,697	1,030	1,409	2
神戸市	1,368	131	32	510	341	158	84	112	0
明石市	256	37	11	89	63	31	11	14	0
西宮市	1,325	152	44	366	356	153	110	144	0
伊丹市	1,114	174	40	309	289	131	68	103	0
宝塚市	457	68	20	123	134	43	25	44	0
大阪市	2,746	112	71	1,227	681	255	157	243	0
豊中市	447	38	10	157	108	50	30	54	0
東京圏	1,982	147	86	919	445	202	110	73	0
その他	6,772	655	310	2,519	1,555	674	435	622	2
令和3年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	17,207	1,572	620	6,588	4,092	1,762	1,078	1,494	1
神戸市	1,458	144	37	578	346	148	96	109	0
明石市	219	32	11	81	64	7	4	20	0
西宮市	1,467	146	62	421	418	152	103	165	0
伊丹市	1,283	176	47	349	359	133	74	145	0
宝塚市	469	69	15	139	126	47	31	42	0
大阪市	2,766	101	65	1,266	628	274	155	277	0
豊中市	461	43	16	163	105	54	36	44	0
東京圏	1,907	131	78	886	407	211	127	67	0
その他	7,177	730	289	2,705	1,639	736	452	625	1
令和4年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	17,084	1,535	595	6,561	4,075	1,611	1,034	1,670	3
神戸市	1,388	123	40	538	364	130	77	116	0
明石市	261	41	11	106	66	17	5	15	0
西宮市	1,383	151	54	422	344	150	88	174	0
伊丹市	1,115	157	60	285	309	104	75	125	0
宝塚市	429	47	12	134	129	33	28	46	0
大阪市	2,737	111	69	1,192	671	240	168	286	0
豊中市	471	39	17	148	121	42	32	72	0
東京圏	1,999	152	70	957	432	192	102	94	0
その他	7,301	714	262	2,779	1,639	703	459	742	3
令和5年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	16,446	1,326	631	6,308	3,882	1,600	1,028	1,669	3
神戸市	1,245	86	38	480	307	118	80	136	0
明石市	282	41	21	106	72	17	7	18	0
西宮市	1,353	152	45	416	366	138	100	136	0
伊丹市	969	139	29	275	261	94	64	107	0
宝塚市	482	67	14	117	144	53	35	52	0
大阪市	2,745	115	91	1,192	658	259	141	289	0
豊中市	454	37	17	149	111	53	22	65	0
東京圏	2,020	99	83	1,011	402	209	107	109	0
その他	6,897	590	293	2,562	1,561	659	472	757	3

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注) 各年とも外国人の移動を含む。

10歳階級別 転入元・転出先別 社会増減数 (単位：人)

令和元年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	1,223	▲ 595	213	1,803	▲ 90	▲ 69	43	▲ 71	▲ 11
神戸市	513	▲ 45	16	396	61	55	26	4	0
明石市	▲ 20	▲ 20	4	13	▲ 2	▲ 10	0	▲ 5	0
西宮市	87	▲ 78	▲ 1	172	▲ 32	5	13	8	0
伊丹市	▲ 40	▲ 102	28	81	▲ 62	▲ 4	9	10	0
宝塚市	▲ 96	▲ 63	7	26	▲ 45	▲ 18	▲ 6	3	0
大阪市	5	29	0	▲ 1	43	▲ 25	4	▲ 45	0
豊中市	20	▲ 19	7	33	▲ 12	8	▲ 6	9	0
東京圏	▲ 762	▲ 88	▲ 56	▲ 332	▲ 175	▲ 62	▲ 30	▲ 19	0
その他	1,527	▲ 209	208	1,415	134	▲ 18	33	▲ 36	▲ 11
令和2年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	928	▲ 569	171	1,309	▲ 151	102	100	▲ 35	1
神戸市	422	▲ 69	33	311	104	▲ 6	16	33	0
明石市	▲ 37	▲ 25	0	16	▲ 9	▲ 16	0	▲ 3	0
西宮市	146	▲ 70	26	167	▲ 27	8	0	42	0
伊丹市	▲ 124	▲ 110	3	40	▲ 74	▲ 11	4	24	0
宝塚市	▲ 41	▲ 57	2	51	▲ 58	▲ 7	14	14	0
大阪市	▲ 13	45	8	▲ 137	65	57	25	▲ 76	0
豊中市	▲ 47	▲ 16	9	▲ 11	▲ 28	19	▲ 5	▲ 15	0
東京圏	▲ 421	▲ 8	▲ 20	▲ 303	▲ 97	2	7	▲ 2	0
その他	1,043	▲ 259	110	1,175	▲ 27	56	39	▲ 52	1
令和3年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	▲ 456	▲ 613	50	1,016	▲ 434	▲ 222	▲ 16	▲ 236	▲ 1
神戸市	250	▲ 68	13	244	75	▲ 10	▲ 5	1	0
明石市	47	▲ 21	3	45	1	18	2	▲ 1	0
西宮市	20	▲ 58	3	146	▲ 80	0	18	▲ 9	0
伊丹市	▲ 290	▲ 110	▲ 2	28	▲ 143	▲ 34	▲ 7	▲ 22	0
宝塚市	27	▲ 45	7	70	▲ 17	▲ 7	4	15	0
大阪市	▲ 123	69	▲ 4	▲ 150	106	▲ 19	0	▲ 125	0
豊中市	▲ 59	▲ 19	4	▲ 4	▲ 13	▲ 14	▲ 6	▲ 7	0
東京圏	▲ 484	▲ 21	▲ 43	▲ 282	▲ 99	▲ 34	4	▲ 9	0
その他	158	▲ 340	69	919	▲ 264	▲ 122	▲ 26	▲ 79	▲ 1
令和4年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	891	▲ 540	99	1,352	▲ 47	28	253	▲ 252	▲ 2
神戸市	561	▲ 43	42	372	101	38	22	29	0
明石市	▲ 21	▲ 29	4	8	▲ 8	2	12	▲ 10	0
西宮市	103	▲ 76	1	121	▲ 45	14	44	44	0
伊丹市	▲ 85	▲ 111	▲ 23	126	▲ 84	5	16	▲ 14	0
宝塚市	13	▲ 23	5	30	▲ 27	15	12	1	0
大阪市	209	64	7	82	131	29	24	▲ 128	0
豊中市	32	▲ 5	2	35	11	3	0	▲ 14	0
東京圏	▲ 404	▲ 17	▲ 39	▲ 289	▲ 67	▲ 34	62	▲ 20	0
その他	483	▲ 300	100	867	▲ 59	▲ 44	61	▲ 140	▲ 2
令和5年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳
総数	1,282	▲ 368	105	1,587	104	▲ 93	93	▲ 145	▲ 2
神戸市	692	16	35	424	144	35	28	10	0
明石市	▲ 36	▲ 28	▲ 5	2	▲ 14	3	8	▲ 2	0
西宮市	121	▲ 54	28	94	▲ 48	13	4	84	0
伊丹市	▲ 6	▲ 85	▲ 1	106	▲ 52	▲ 6	2	30	0
宝塚市	▲ 89	▲ 50	12	42	▲ 56	▲ 19	▲ 15	▲ 3	0
大阪市	134	42	▲ 2	19	157	▲ 8	17	▲ 91	0
豊中市	▲ 11	▲ 7	▲ 13	31	▲ 3	▲ 24	17	▲ 12	0
東京圏	▲ 567	18	▲ 36	▲ 402	▲ 77	▲ 55	22	▲ 37	0
その他	1,043	▲ 220	87	1,271	53	▲ 32	10	▲ 124	▲ 2

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注) 各年とも外国人の移動を含む。

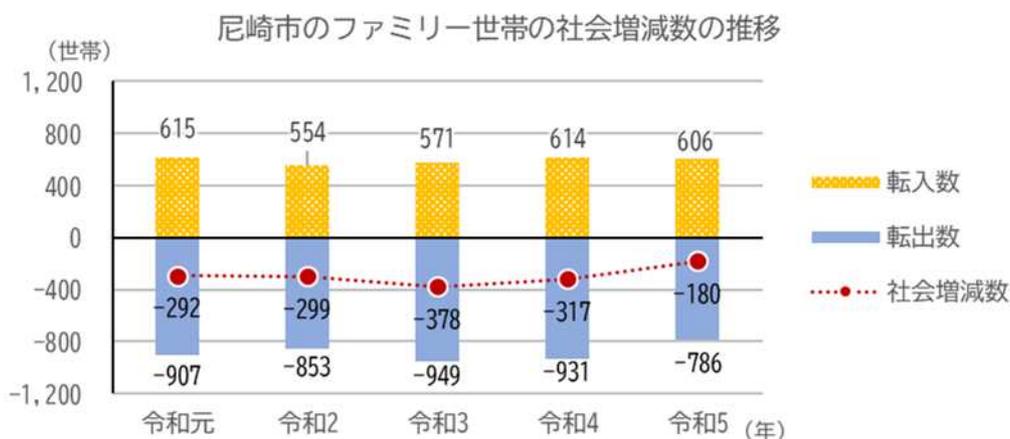
Ⅲ ファミリー世帯の社会動態

1 社会動態

(1) 全市

ファミリー世帯（本報告書では、世帯主と5歳未満の子どもがいる世帯を指す。）の社会動態をみると、令和5年は、転入数が前年より1.3%減少（8世帯）して606世帯、転出数が15.6%減少（▲145世帯）して786世帯となった。転出数が転入数を上回って180世帯の社会減となった。

また、社会増減数の推移をみると、最近5年間は社会減にあり、減少数は拡大が続いていたが、令和5年は減少幅が前年より43.2%（▲137世帯）と大幅に縮小した。

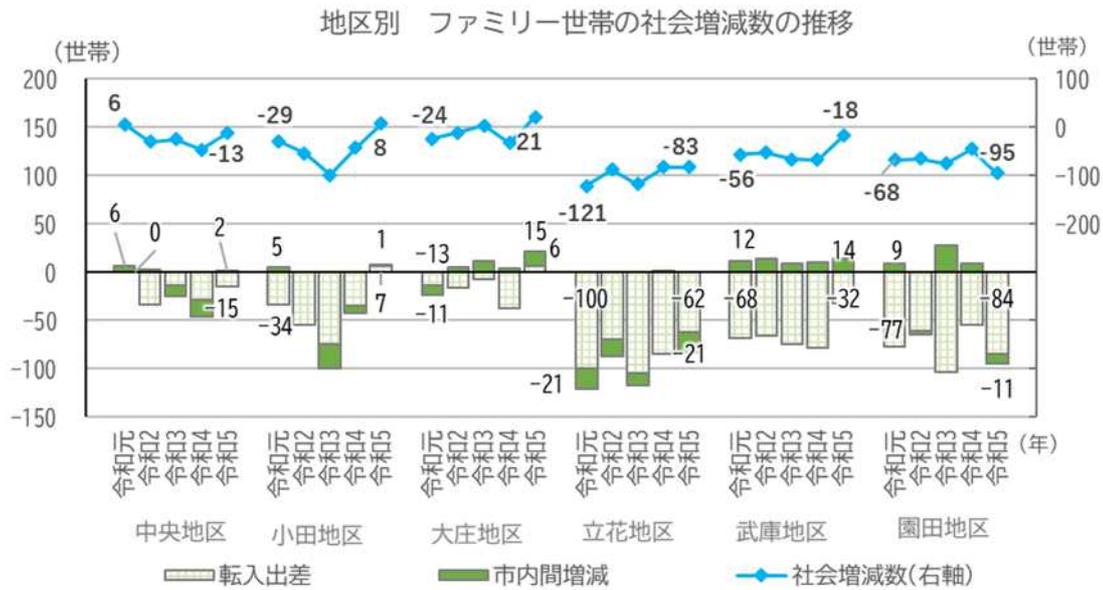


資料：尼崎市都市政策課

(2) 地区別

① 社会増減

令和5年の社会増減数をみると、小田地区、大庄地区で社会増となったが、ほか4地区で社会減となった。減少数は園田地区（▲95世帯）、立花地区（▲83世帯）、武庫地区（▲18世帯）の順が多い。最近5年間の推移をみると、小田地区、大庄地区では、社会減から社会増に転じている。ほか4地区ではおおむね社会減が続いているが、令和5年は、中央地区、武庫地区で、前年に比べ減少数の縮小がみられた。市内間増減をみると、令和5年は、立花地区、園田地区では、減少となっており、ほか4地区では、増加となっている。

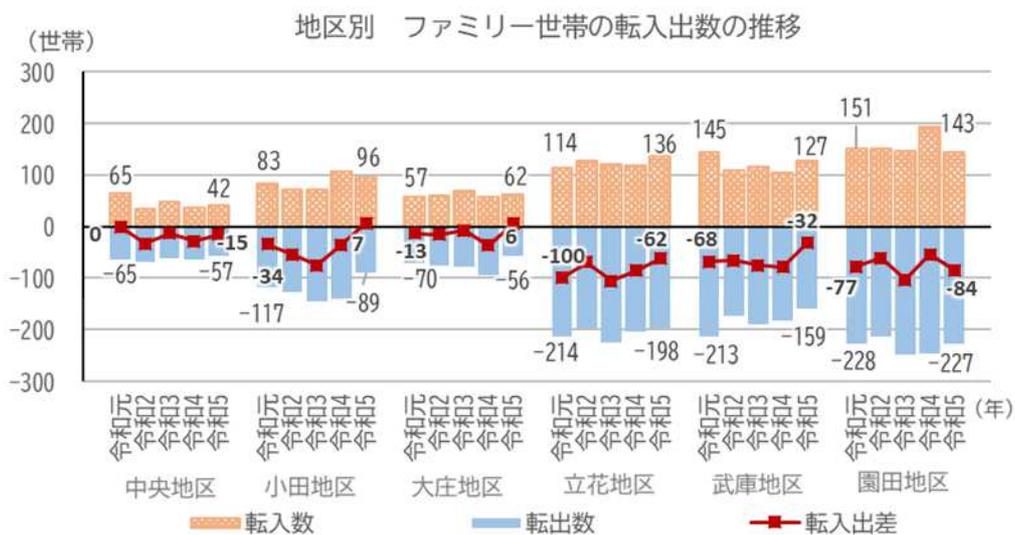


資料：尼崎市都市政策課

②転入出

令和5年の転入数は、園田地区（143世帯）、立花地区（136世帯）、武庫地区（127世帯）の順で多く、令和元年度と比べると、中央地区で35.4%減少（▲23世帯）、武庫地区で12.4%減少（▲18世帯）している。また、令和5年の転出数は、園田地区（227世帯）、立花地区（198世帯）、武庫地区（159世帯）の順で多く、令和元年度と比べると、武庫地区で25.4%減少（▲54世帯）、小田地区で23.9%減少（▲28世帯）している。

転入出差をみると、令和5年は、小田地区、大庄地区をのぞく4地区で転出超過となり、転出超過数は園田地区（▲84世帯）、立花地区（▲62世帯）、武庫地区（▲32世帯）の順で多い。また、園田地区では転出超過数が前年に比べて拡大し、ほか5地区では縮小した。



資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の転入数 (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
全 市	615	554	571	614	606	▲ 9	▲ 1.5%
中央地区	65	35	48	36	42	▲ 23	▲ 35.4%
小田地区	83	72	71	106	96	13	15.7%
大庄地区	57	59	70	57	62	5	8.8%
立花地区	114	128	120	118	136	22	19.3%
武庫地区	145	108	116	105	127	▲ 18	▲ 12.4%
園田地区	151	152	146	192	143	▲ 8	▲ 5.3%

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の転出数 (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
全 市	907	853	949	931	786	▲ 121	▲ 13.3%
中央地区	65	68	61	64	57	▲ 8	▲ 12.3%
小田地区	117	126	146	141	89	▲ 28	▲ 23.9%
大庄地区	70	75	77	94	56	▲ 14	▲ 20.0%
立花地区	214	197	225	203	198	▲ 16	▲ 7.5%
武庫地区	213	174	191	183	159	▲ 54	▲ 25.4%
園田地区	228	213	249	246	227	▲ 1	▲ 0.4%

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の転入出差 (転入-転出) (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)
全 市	▲ 292	▲ 299	▲ 378	▲ 317	▲ 180	112
中央地区	0	▲ 33	▲ 13	▲ 28	▲ 15	▲ 15
小田地区	▲ 34	▲ 54	▲ 75	▲ 35	7	41
大庄地区	▲ 13	▲ 16	▲ 7	▲ 37	6	19
立花地区	▲ 100	▲ 69	▲ 105	▲ 85	▲ 62	38
武庫地区	▲ 68	▲ 66	▲ 75	▲ 78	▲ 32	36
園田地区	▲ 77	▲ 61	▲ 103	▲ 54	▲ 84	▲ 7

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の市内転居 (転居元) (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
全 市	1,114	1,184	1,152	1,241	1,084	▲ 30	▲ 2.7%
中央地区	118	114	107	117	83	▲ 35	▲ 29.7%
小田地区	165	178	159	225	149	▲ 16	▲ 9.7%
大庄地区	111	140	105	121	104	▲ 7	▲ 6.3%
立花地区	273	282	277	284	261	▲ 12	▲ 4.4%
武庫地区	194	192	219	178	201	7	3.6%
園田地区	253	278	285	316	286	33	13.0%

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の市内転居 (転居先) (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
全 市	1,114	1,184	1,152	1,241	1,084	▲ 30	▲ 2.7%
中央地区	124	117	95	99	85	▲ 39	▲ 31.5%
小田地区	170	178	135	218	150	▲ 20	▲ 11.8%
大庄地区	100	145	116	125	119	19	19.0%
立花地区	252	264	265	286	240	▲ 12	▲ 4.8%
武庫地区	206	206	228	188	215	9	4.4%
園田地区	262	274	313	325	275	13	5.0%

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の市内間増減 (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	6	3	▲ 12	▲ 18	2	▲ 4
小田地区	5	0	▲ 24	▲ 7	1	▲ 4
大庄地区	▲ 11	5	11	4	15	26
立花地区	▲ 21	▲ 18	▲ 12	2	▲ 21	0
武庫地区	12	14	9	10	14	2
園田地区	9	▲ 4	28	9	▲ 11	▲ 20

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の社会増減数(転入出差+市内間増減) (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)
全 市	▲ 292	▲ 299	▲ 378	▲ 317	▲ 180	112
中央地区	6	▲ 30	▲ 25	▲ 46	▲ 13	▲ 19
小田地区	▲ 29	▲ 54	▲ 99	▲ 42	8	37
大庄地区	▲ 24	▲ 11	4	▲ 33	21	45
立花地区	▲ 121	▲ 87	▲ 117	▲ 83	▲ 83	38
武庫地区	▲ 56	▲ 52	▲ 66	▲ 68	▲ 18	38
園田地区	▲ 68	▲ 65	▲ 75	▲ 45	▲ 95	▲ 27

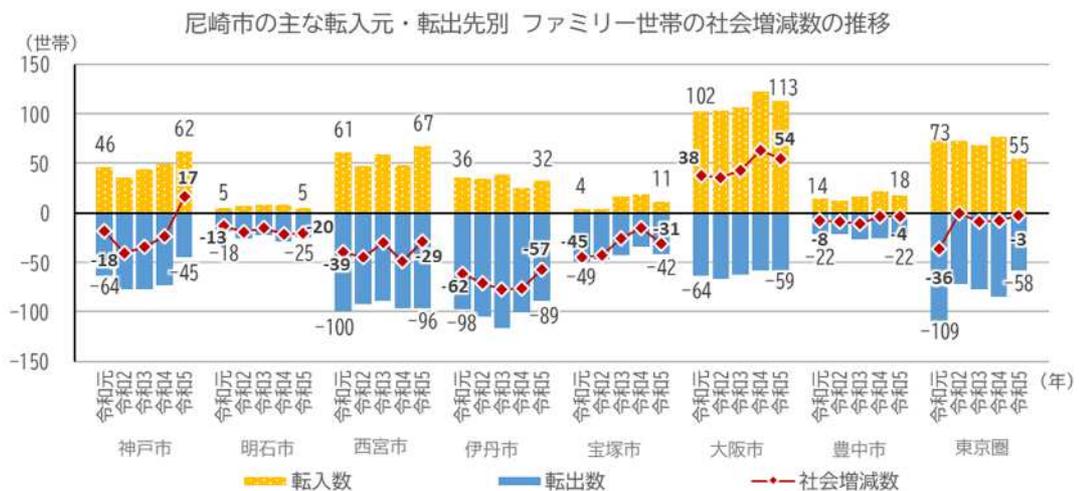
資料：尼崎市都市政策課

2 転入元・転出先別の移動数

主な転入元別に転入数をみると、令和5年は、大阪市(113世帯)、西宮市(67帯)、神戸市(62帯)の順で多くなっている。令和元年度と比べると、東京圏で24.7%減少(▲18世帯)し、神戸市で34.8%増加(16世帯)している。

主な転出先別に転出数をみると、令和5年は、西宮市(▲96世帯)、伊丹市(▲89世帯)、大阪市(▲59世帯)の順で多い。令和元年度と比べると、東京圏で46.8%(▲51世帯)、神戸市で29.7%(▲19世帯)減少している。

転入出差をみると、令和5年は、大阪市に対して転入超過(54世帯)、神戸市に対して転入超過(17世帯)、そのほかの市や地域に対しては転出超過となっている。転出超過数は、伊丹市(▲57世帯)、宝塚市(▲31世帯)、西宮市(▲29世帯)の順で多い。最近5年間の推移をみると、大阪市は転入超過が続いており、超過数は拡大傾向にある。また、神戸市は転出超過が続いていたが、令和5年に転入超過に転じた。



ファミリー世帯の転入元別転入数 (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
合計	615	554	571	614	606	▲ 9	▲ 1.5%
神戸市	46	36	44	49	62	16	▲ 34.8%
明石市	5	7	8	8	5	0	0.0%
西宮市	61	47	59	48	67	6	9.8%
伊丹市	36	34	39	25	32	▲ 4	▲ 11.1%
宝塚市	4	4	17	19	11	7	175.0%
大阪市	102	103	106	122	113	11	10.8%
豊中市	14	12	16	22	18	4	28.6%
東京圏	73	72	68	77	55	▲ 18	▲ 24.7%
その他	274	239	214	244	243	▲ 31	▲ 11.3%

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の転出先別転出数 (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)	
						実数	増加率
合計	907	853	949	931	786	▲ 121	▲ 13.3%
神戸市	64	77	78	73	45	▲ 19	▲ 29.7%
明石市	18	26	23	29	25	7	38.9%
西宮市	100	92	89	97	96	▲ 4	▲ 4.0%
伊丹市	98	105	117	101	89	▲ 9	▲ 9.2%
宝塚市	49	47	43	34	42	▲ 7	▲ 14.3%
大阪市	64	67	63	59	59	▲ 5	▲ 7.8%
豊中市	22	21	27	26	22	0	0.0%
東京圏	109	72	77	85	58	▲ 51	▲ 46.8%
その他	383	346	432	427	350	▲ 33	▲ 8.6%

資料：尼崎市都市政策課

ファミリー世帯の社会増減数 (転入-転出) (単位：世帯)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	変化 (R1-R5年度)
合計	▲ 292	▲ 299	▲ 378	▲ 317	▲ 180	112
神戸市	▲ 18	▲ 41	▲ 34	▲ 24	17	35
明石市	▲ 13	▲ 19	▲ 15	▲ 21	▲ 20	▲ 7
西宮市	▲ 39	▲ 45	▲ 30	▲ 49	▲ 29	10
伊丹市	▲ 62	▲ 71	▲ 78	▲ 76	▲ 57	5
宝塚市	▲ 45	▲ 43	▲ 26	▲ 15	▲ 31	14
大阪市	38	36	43	63	54	16
豊中市	▲ 8	▲ 9	▲ 11	▲ 4	▲ 4	4
東京圏	▲ 36	0	▲ 9	▲ 8	▲ 3	33
その他	▲ 109	▲ 107	▲ 218	▲ 183	▲ 107	2

資料：尼崎市都市政策課

3 町丁目別移動

ファミリー世帯の社会増減を詳細に把握するために、地区ごとに転入・転出超過数が多い町丁目を掲出した。転入超過となっている町丁目を見ると、令和5年は、立花地区の「立花町1丁目」(34世帯)、園田地区の「若王寺3丁目」(22世帯)、「食満5丁目」(20世帯)で超過数が多くなっている。

一方、転出超過となっている町丁目を見ると、園田地区の「南塚口町3丁目」(23世帯)、「南塚口町5丁目」(17世帯)、立花地区の「南塚口町8丁目」(16世帯)、武庫地区の「南武庫之荘4丁目」(16世帯)が多くなっている。

町丁目別 ファミリー世帯の転入超過数（上位5位、単位：世帯）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年					
中央地区	東難波町4丁目	14	西大物町	16	北大物町	7	西難波町6丁目	5	西難波町2丁目	8
	西難波町3丁目	6	東難波町4丁目	5			西大物町	5	東難波町4丁目	5
	北竹谷町1丁目	5								
小田地区	杭瀬北新町3丁目	10	長洲中通3丁目	8	長洲中通3丁目	7	長洲西通1丁目	72	長洲西通1丁目	8
	長洲中通3丁目	9	常光寺1丁目	7	長洲中通2丁目	6	次屋3丁目	7	常光寺1丁目	6
	久々知西町1丁目	6	杭瀬寺島1丁目	6	神崎町	5	今福1丁目	6	久々知1丁目	5
	杭瀬南新町4丁目	5	長洲東通1丁目	6			久々知1丁目	5	潮江1丁目	5
	長洲中通2丁目	5	杭瀬北新町3丁目	5					浜3丁目	5
								常光寺2丁目	5	
大庄地区			蓬川町	6	大庄西町4丁目	21	大島3丁目	8	大庄西町3丁目	12
			大庄西町4丁目	6	大庄北1丁目	6	大庄北5丁目	7	大島2丁目	10
			稲葉元町3丁目	5	菜切山町	5	大島2丁目	5	浜田町4丁目	6
			大庄北5丁目	5					大庄西町2丁目	5
立花地区	富松町3丁目	6	富松町4丁目	10	尾浜町2丁目	10	南武庫之荘2丁目	8	立花町1丁目	34
	上ノ島町2丁目	6	富松町2丁目	9	栗山町2丁目	10	塚口町3丁目	6	富松町4丁目	15
	三反田町2丁目	5	水堂町2丁目	8	富松町4丁目	8	大西町1丁目	6	塚口町4丁目	7
			塚口町4丁目	7	上ノ島町2丁目	7	尾浜町2丁目	5	尾浜町1丁目	6
			三反田町1丁目	6	南塚口町8丁目	5	栗山町2丁目	5	尾浜町2丁目	5
武庫地区	武庫町1丁目	15	武庫之荘西2丁目	9	西昆陽2丁目	11	西昆陽2丁目	10	武庫之荘本町2丁目	17
	武庫之荘7丁目	12	武庫の里2丁目	7	武庫之荘本町2丁目	10	武庫之荘5丁目	6	西昆陽2丁目	14
	武庫之荘6丁目	8	武庫町2丁目	6	武庫之荘6丁目	8	武庫の里2丁目	6	武庫之荘本町1丁目	10
	武庫之荘8丁目	7	武庫豊町3丁目	5	武庫之荘8丁目	8	武庫之荘7丁目	5	武庫之荘8丁目	7
	武庫の里1丁目	5	武庫之荘本町1丁目	5	武庫の里2丁目	8			南武庫之荘8丁目	5
園田地区	南塚口町6丁目	22	東塚口町1丁目	48	南塚口町6丁目	28	小中島1丁目	58	若王寺3丁目	22
	瓦宮2丁目	6	若王寺2丁目	8	若王寺3丁目	24	食満5丁目	36	食満5丁目	20
	小中島2丁目	5	東園田町3丁目	6	田能1丁目	16	若王寺3丁目	15	若王寺1丁目	6
	田能5丁目	5	南塚口町6丁目	6	食満7丁目	7	田能3丁目	12	田能4丁目	6
	食満7丁目	5	戸ノ内町2丁目	5	東園田町8丁目	6	食満7丁目	11	食満3丁目	6

資料：尼崎市都市政策課

(注1) 市内転居による地区間移動を含む

(注2) 4世帯以下の町丁目は、上位5位内でも省略

町丁目別 ファミリー世帯の転出超過数（上位5位、単位：世帯）

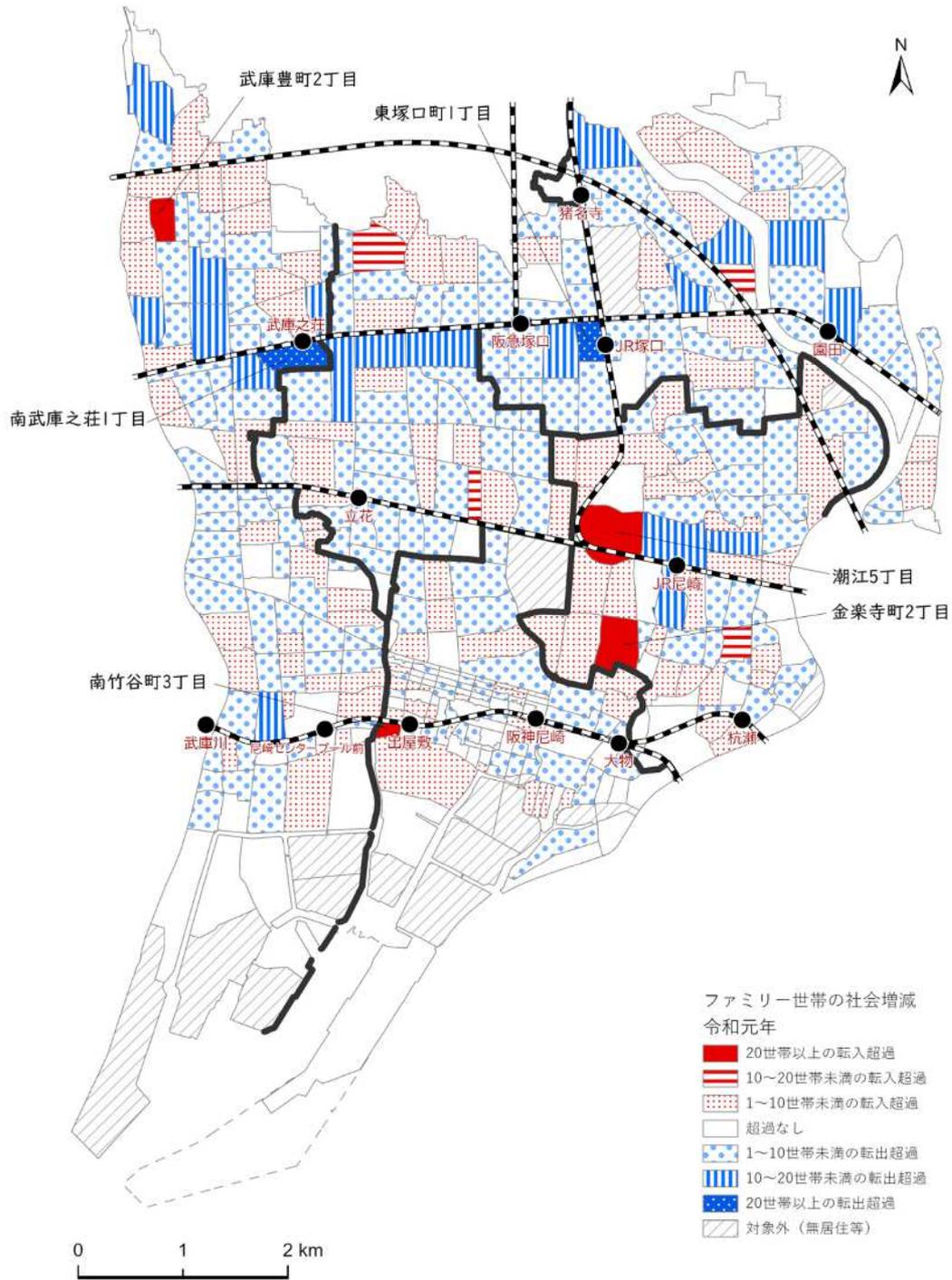
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
中央地区		東難波町3丁目 ▲9	東難波町5丁目 ▲10	御園町 ▲7	東難波町3丁目 ▲8
		昭和通2丁目 ▲6		西難波町2丁目 ▲6	西大物町 ▲7
		神田北通4丁目 ▲5		東難波町5丁目 ▲6	
		大物町2丁目 ▲5		建家町 ▲5	
				開明町2丁目 ▲5	
小田地区	浜2丁目 ▲7	潮江5丁目 ▲15	潮江1丁目 ▲16	潮江1丁目 ▲24	善法寺町 ▲6
	今福1丁目 ▲7	額田町 ▲9	西川2丁目 ▲11	額田町 ▲13	長洲本通1丁目 ▲6
	西川2丁目 ▲7	神崎町 ▲7	潮江3丁目 ▲7	西川2丁目 ▲12	潮江5丁目 ▲5
	潮江1丁目 ▲6	今福1丁目 ▲7	額田町 ▲6	潮江2丁目 ▲10	額田町 ▲5
	常光寺3丁目 ▲6	潮江2丁目 ▲6	善法寺町 ▲6	潮江5丁目 ▲9	
	金楽寺町2丁目 ▲6	長洲東通3丁目 ▲6		長洲本通1丁目 ▲9	
大庄地区	稲葉元町1丁目 ▲7	大庄川田町 ▲6	大庄川田町 ▲6	浜田町3丁目 ▲7	大庄西町4丁目 ▲11
	崇徳院2丁目 ▲5	大庄中通1丁目 ▲6		大庄川田町 ▲7	大庄川田町 ▲6
	大庄西町1丁目 ▲5	大庄西町1丁目 ▲6		稲葉元町2丁目 ▲7	
		浜田町3丁目 ▲5		稲葉元町2丁目 ▲6	
立花地区	南武庫之荘2丁目 ▲23	南武庫之荘3丁目 ▲22	塚口本町1丁目 ▲18	上ノ島町1丁目 ▲18	南塚口町8丁目 ▲16
	上ノ島町3丁目 ▲15	塚口町1丁目 ▲14	七松町2丁目 ▲13	塚口本町1丁目 ▲14	塚口本町1丁目 ▲15
	塚口本町1丁目 ▲14	武庫之荘東2丁目 ▲13	南武庫之荘3丁目 ▲13	塚口町1丁目 ▲13	南武庫之荘2丁目 ▲12
	南武庫之荘3丁目 ▲9	三反田町2丁目 ▲11	南武庫之荘2丁目 ▲10	立花町2丁目 ▲12	富松町1丁目 ▲12
	名神町2丁目 ▲8	塚口本町1丁目 ▲11	武庫之荘東2丁目 ▲10	東七松町1丁目 ▲11	上ノ島町3丁目 ▲12
	上ノ島町1丁目 ▲8			七松町3丁目 ▲11	
武庫地区	南武庫之荘4丁目 ▲16	南武庫之荘7丁目 ▲20	武庫之荘2丁目 ▲11	南武庫之荘7丁目 ▲25	南武庫之荘4丁目 ▲16
	南武庫之荘5丁目 ▲14	南武庫之荘1丁目 ▲17	武庫町2丁目 ▲11	南武庫之荘4丁目 ▲15	南武庫之荘5丁目 ▲14
	南武庫之荘7丁目 ▲13	南武庫之荘4丁目 ▲13	武庫之荘1丁目 ▲10	武庫元町1丁目 ▲14	武庫之荘2丁目 ▲9
	武庫之荘東1丁目 ▲11	南武庫之荘8丁目 ▲12	南武庫之荘5丁目 ▲10	南武庫之荘6丁目 ▲11	南武庫之荘1丁目 ▲9
	武庫元町1丁目 ▲10	南武庫之荘5丁目 ▲8	南武庫之荘7丁目 ▲10	武庫之荘1丁目 ▲10	武庫町1丁目 ▲8
				南武庫之荘1丁目 ▲10	
園田地区	南塚口町2丁目 ▲17	東園田町5丁目 ▲14	南清水 ▲18	南塚口町3丁目 ▲20	南塚口町3丁目 ▲23
	猪名寺1丁目 ▲11	南塚口町3丁目 ▲14	南塚口町3丁目 ▲16	榎堂1丁目 ▲18	南塚口町5丁目 ▲17
	東園田町6丁目 ▲10	小中島3丁目 ▲11	上坂部2丁目 ▲16	上坂部1丁目 ▲12	東園田町8丁目 ▲12
	南塚口町5丁目 ▲9	御園3丁目 ▲11	南塚口町5丁目 ▲12	御園3丁目 ▲12	猪名寺1丁目 ▲11
	東園田町2丁目 ▲8	南塚口町5丁目 ▲9	東園田町5丁目 ▲11	上坂部2丁目 ▲11	東園田町5丁目 ▲10
	東園田町4丁目 ▲8	南清水 ▲9		御園1丁目 ▲11	御園1丁目 ▲10

資料：尼崎市都市政策課

(注1) 市内転居による地区間移動を含む

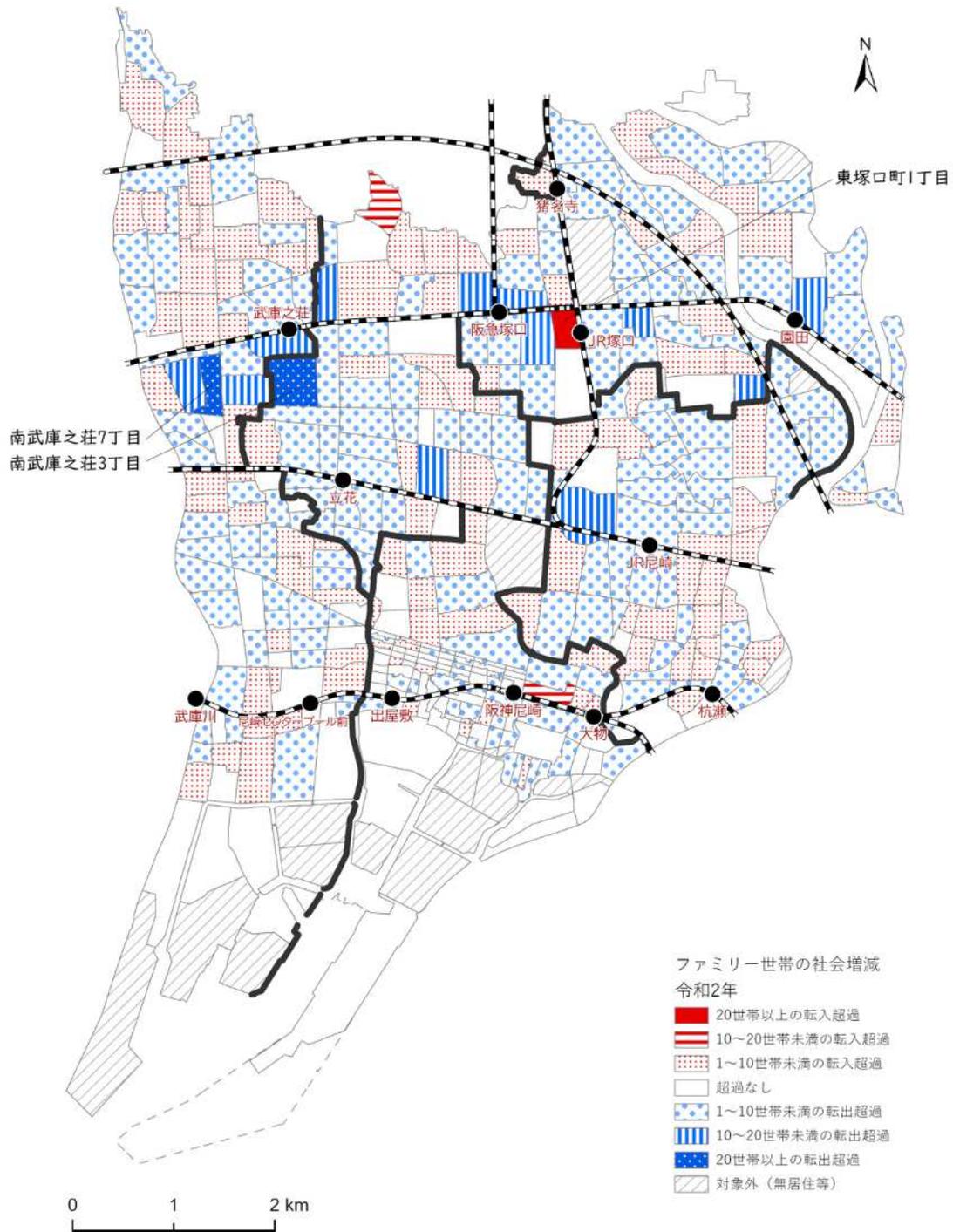
(注2) 4世帯以下の町丁目は、上位5位内でも省略

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和元年）



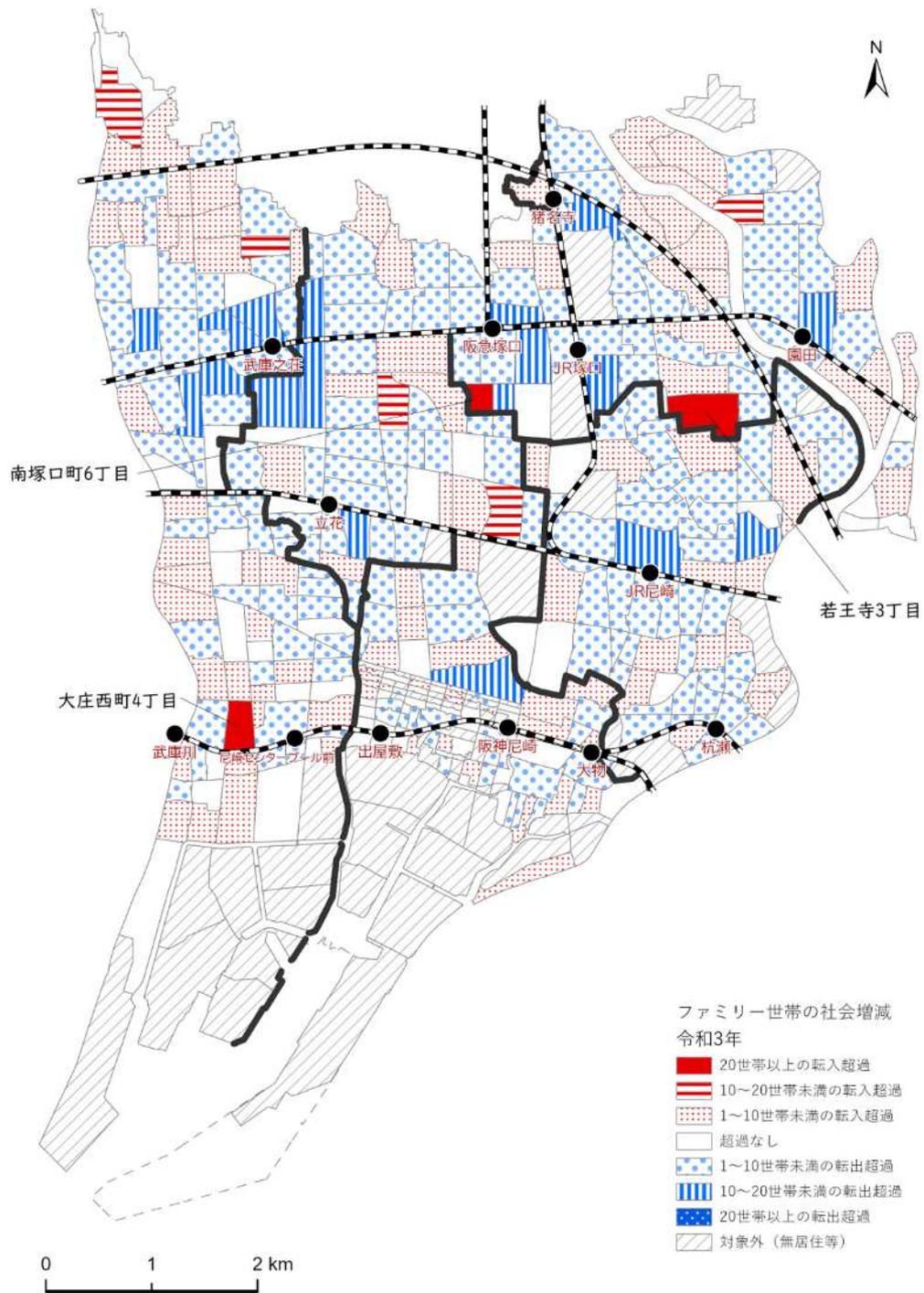
資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和2年）



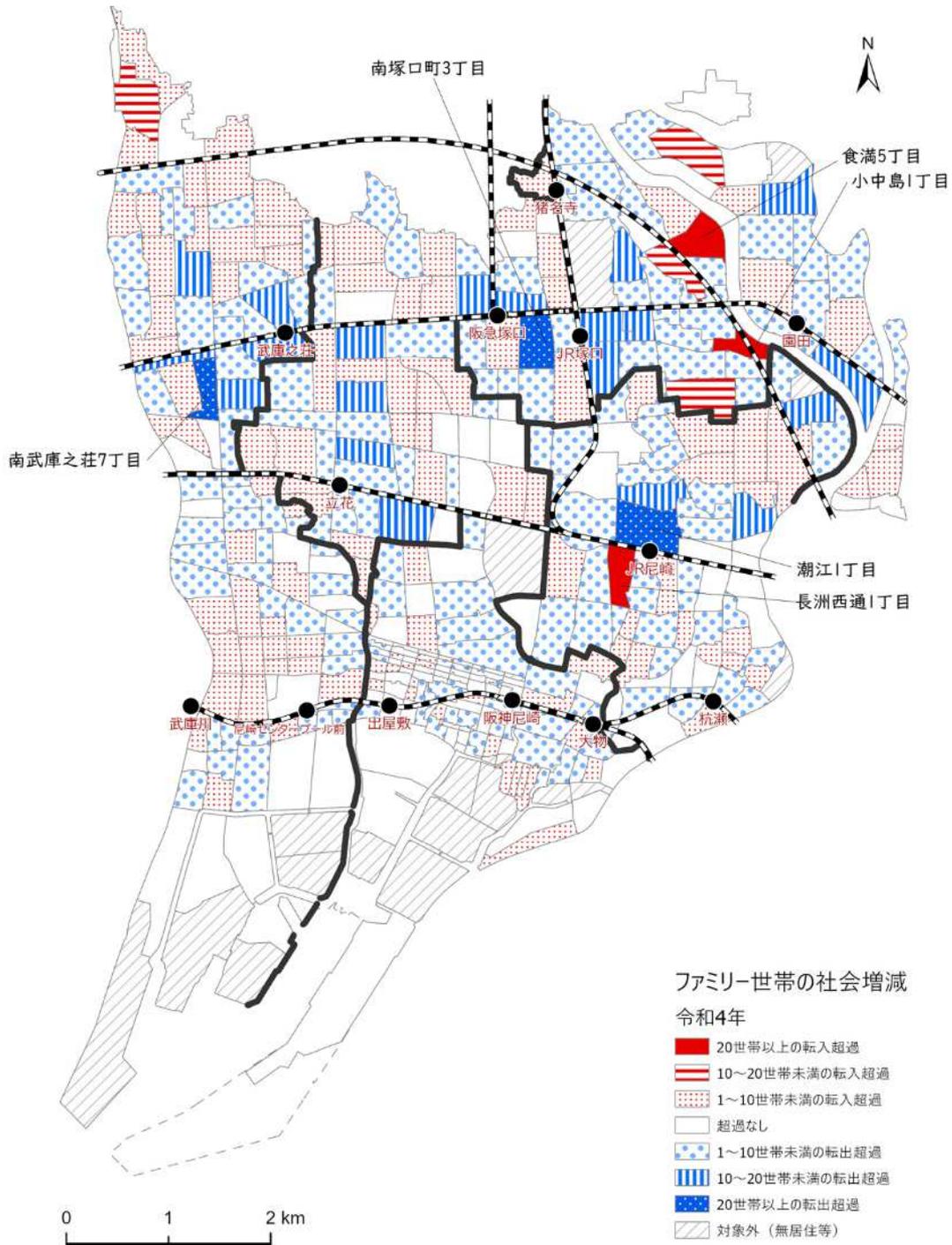
資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和3年）



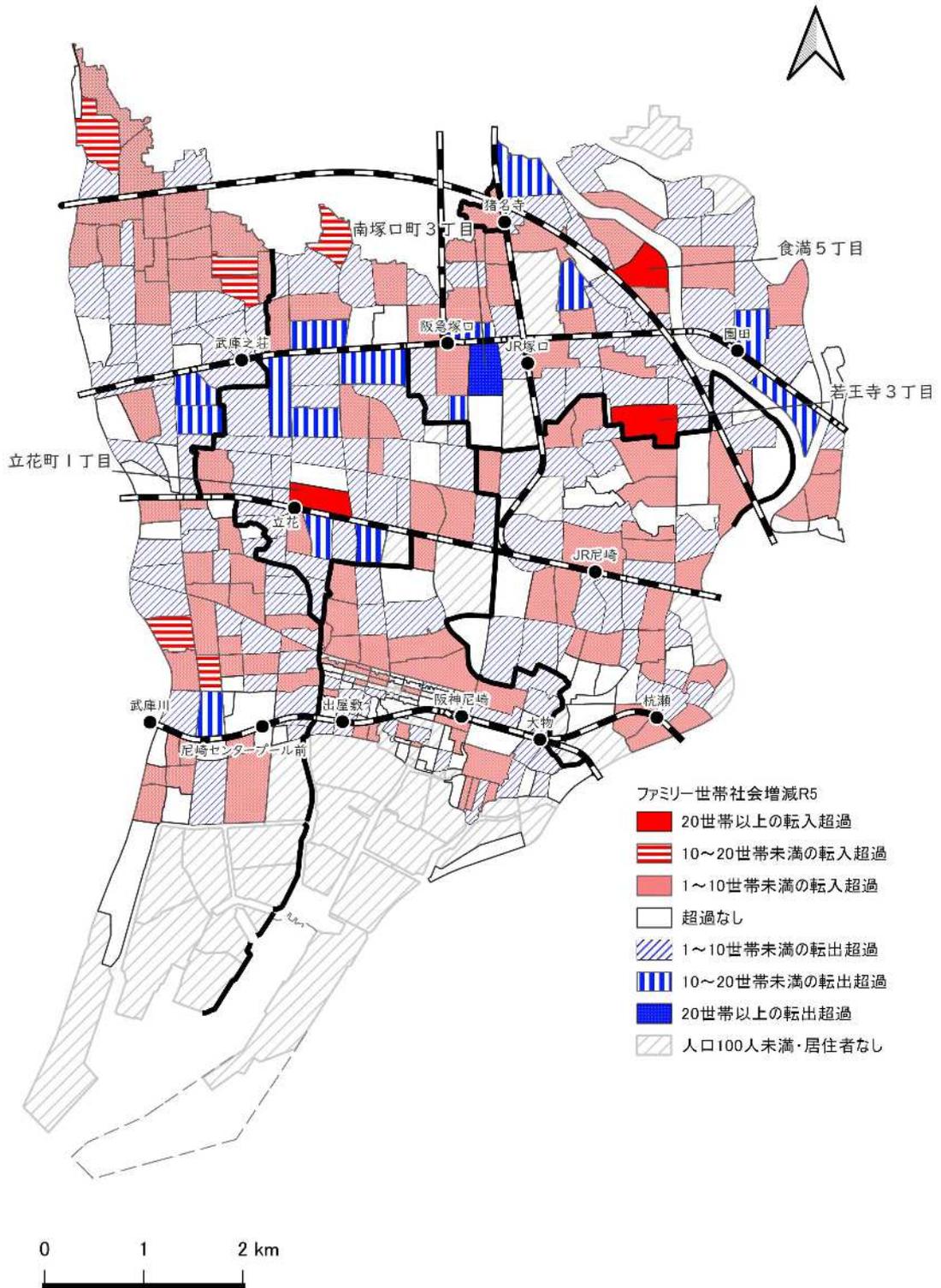
資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和4年）



資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和5年）



資料：尼崎市都市政策課

IV 尼崎市の人口の動向—令和2年国勢調査を中心に

1 人口構成の変化と少子化

(1) 人口構成

令和2年国勢調査による尼崎市の人口は458,309人であり、人口ピラミッドをみると、低出生率、低死亡率のつぼ型をしている。

年齢階級別にみると、男性では50～54歳（19,227人）、45～49歳（17,987人）、55～59歳（15,713人）の順で多く、女性では50～54歳（18,789人）、45～49歳（17,383人）、70～74歳（16,642人）の順が多い。男女とも、団塊のジュニア世代（46～49歳）よりも上の50～54歳が最も多い点が特徴的である。

40～44歳以下の年齢階級別人口は、年齢が下がるほど少ない傾向があり、20～24歳は22,810人、15～19歳は18,513人、4歳以下は16,736人となっている。

また、全市の人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.2となっており、男性が少ない。

尼崎市の人口ピラミッド（令和2年）



資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（日本の地域別将来推計人口）
※令和2年10月1日現在の人口

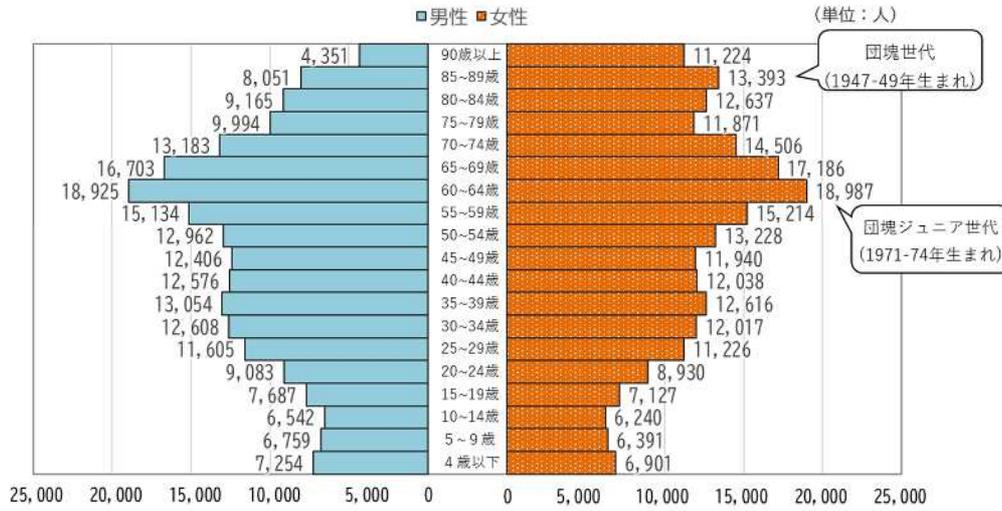
将来推計値による全市の人口をみると、令和17年は431,714人で、令和2年より約26,000人減少、令和27年は406,852人で、令和2年より約51,000人減少すると推計されている。

将来推計値に基づく人口ピラミッドをみると、年少人口（0～14歳人口）は、令和2年と比較して令和17年推計値では約11,000人、令和27年推計値では約14,000人減少すると推計されており、ピラミッドの裾はより狭くなっている。

また、39歳以下の若年層に注目すると、令和17年推計値では35～39歳が最多の25,670人、令和27年推計値でも35～39歳が最多で23,282人となっている。令和2年に45～54歳の人口の多くが、令和17年には老年人口（65歳以上）となる一方で、この世

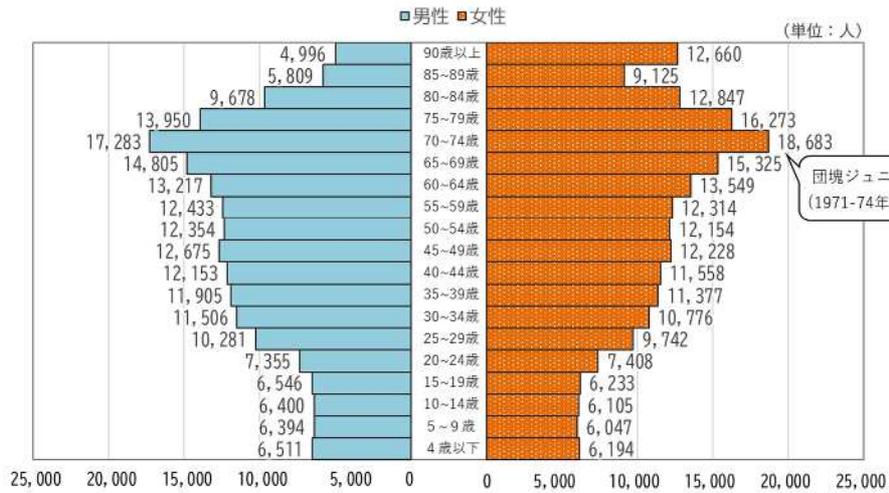
代を支える生産年齢人口（15～64歳）、特に若年層がさらに減少すると予想されている。

尼崎市の人口ピラミッド（令和17年、推計値）



資料：国立社会保障・人口問題研究所（日本の地域別将来推計人口）
※令和17年10月1日現在の推計人口

尼崎市の人口ピラミッド（令和27年、推計値）

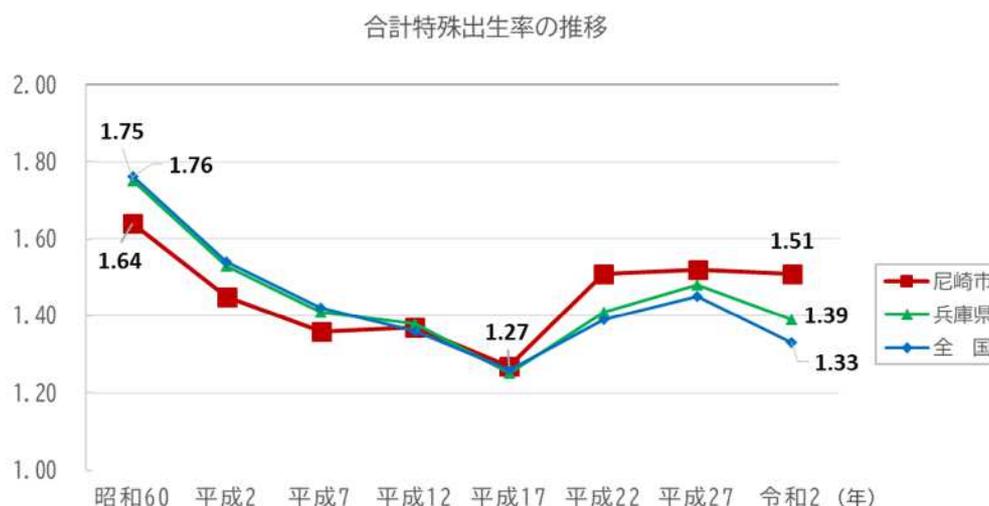


資料：国立社会保障・人口問題研究所（日本の地域別将来推計人口）
※令和27年10月1日現在の推計人口

(2) 出生率

①合計特殊出生率

尼崎市の合計特殊出生率（15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する。）は、昭和60年は1.64で、兵庫県の1.75、全国の1.76を下回っていた。平成17年には1.27まで低下したが、平成22年に1.51に上昇した後は、ほぼ横ばいで推移し、令和2年も1.51となっている。また、平成17年以降は、兵庫県、全国の合計特殊出生率を上回っている。



資料：兵庫県（国勢調査及び人口動態統計調査）

合計特殊出生率

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
尼崎市	1.64	1.45	1.36	1.37	1.27	1.51	1.52	1.51
兵庫県	1.75	1.53	1.41	1.38	1.25	1.41	1.48	1.39
全国	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.33

資料：兵庫県（国勢調査及び人口動態統計調査）

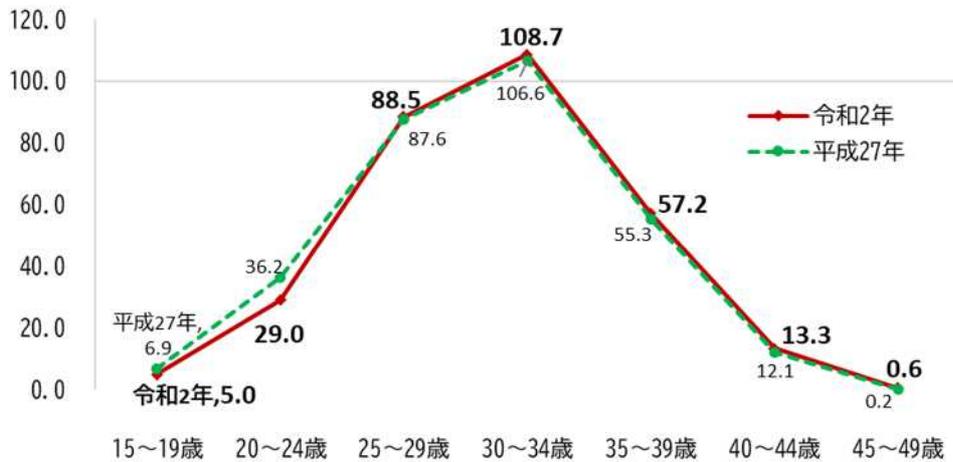
※平成7年以前は国勢調査による総人口（外国人を含む）。平成12年以降は年齢・国籍不詳を按分した日本人人口による。

②女性の年齢階級別出生率

尼崎市の女性の年齢階級別の出生率をみると、令和2年は、30～34歳が108.7（女性人口1,000人当たり）と最も高く、次いで、25～29歳が88.5、35～39歳が57.2の順で高くなっている。

令和2年の年齢階級別出生率を平成27年と比較すると、25歳以上では各年齢階級とも平成27年を上回っているものの、20～24歳は29.0となり7.2ポイント低下、15～19歳で5.0となり1.9ポイント低下しており、若い世代での出生率が低下している。

女性の年齢階級別出生率



資料：国勢調査及び人口動態統計調査・尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

女性の年齢階級別出生率及び合計特殊出生率

平成27年	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	合計特殊出生率
年齢階級別出生率	6.9	36.2	87.6	106.6	55.3	12.1	0.2	1.52
女性人口	9,252	10,130	11,682	13,203	14,914	18,114	16,049	
出生数	64	367	1,023	1,407	824	220	3	
令和2年	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	合計特殊出生率
年齢階級別出生率	5.0	29.0	88.5	108.7	57.2	13.3	0.6	1.51
女性人口	8,561	10,723	12,101	12,035	12,946	14,464	17,859	
出生数	43	311	1,071	1,308	741	193	10	

資料：国勢調査、人口動態統計調査、兵庫県「合計特殊出生率」、兵庫県保健統計年報

※女性の年齢階級別出生率（千人当たり）＝（ある年齢階級の母が1年間に生んだ子の数）÷（10月1日現在における日本人女性のある年齢階級の人口）×1,000。

※合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率（母の年齢別出生数÷年齢別女性人口）の合計。ここでは各歳人口の代わりに年齢5歳階級別人口をもとに算出したため、年齢階級別の出生率を5倍した数値を合計している。

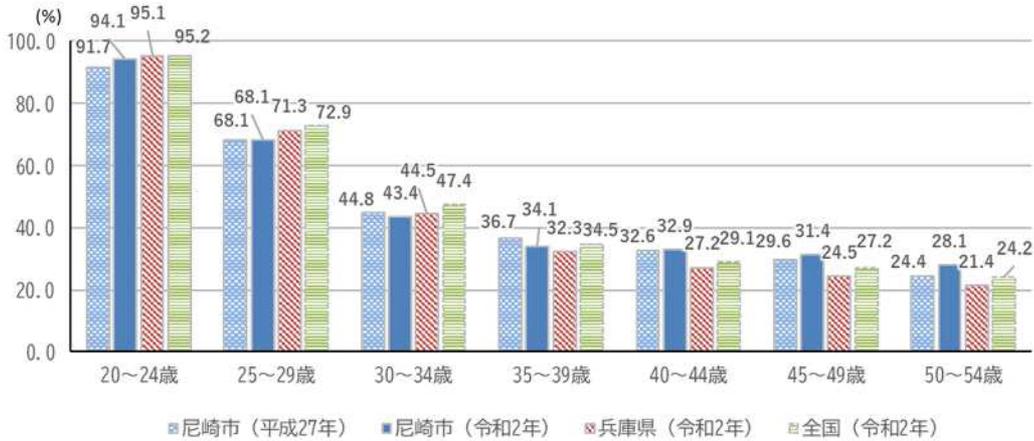
(3) 未婚率

本市の令和2年における20～54歳の未婚率をみると、男性は、20～24歳で94.1%、25～29歳で68.1%、30～34歳で43.4%と、年齢が上がるごとに低下し、35歳以上では30%前後となっている。また、40歳以上は、兵庫県、全国を上回っている。

女性は、20～24歳は91.8%、25～29歳で60.4%、30～34歳で36.0%となり、35歳以上では3割を下回る。30歳以上は全国、兵庫県を上回っている。

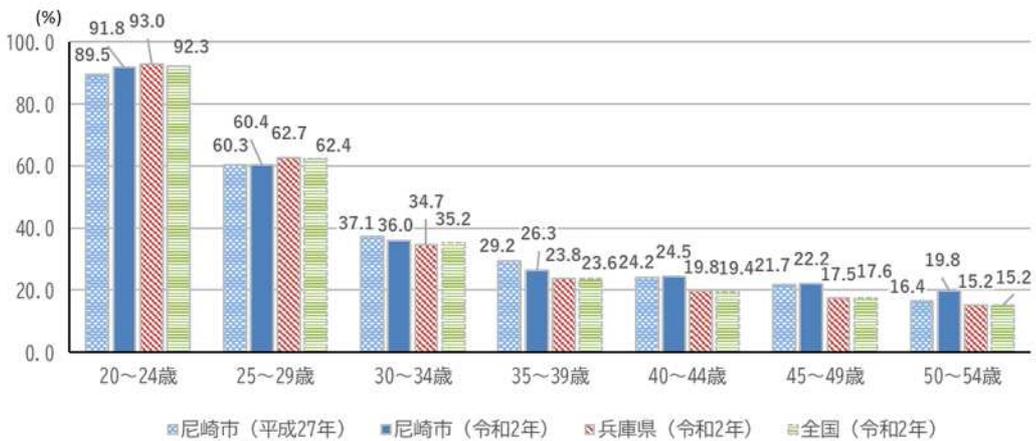
平成27年と比較すると、男性は、20～24歳で2.4ポイント、40歳代以上で0.3～3.7ポイント上昇し、30歳代では1.4～2.6ポイント低下している。女性は、30歳代で1.1～2.9ポイント低下しているが、20歳代は0.1～2.3ポイント上昇している。

未婚率の推移（男性）



資料：総務省「国勢調査」

未婚率の推移（女性）



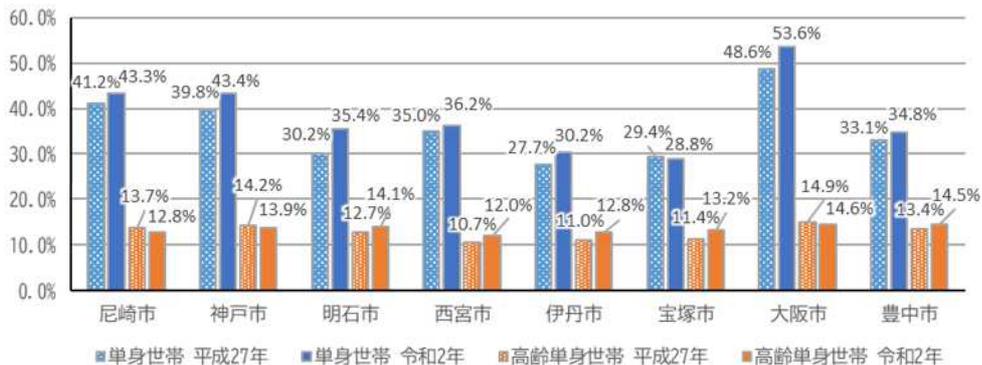
資料：総務省「国勢調査」

2 単身世帯及び高齢単身世帯の動向

令和2年の本市における単身世帯は95,671世帯で、構成比は平成27年の41.2%より2.1ポイント上昇して43.3%となり、近隣市では大阪市、神戸市に次いで高くなっている。

また、令和2年の本市における高齢単身世帯は28,198世帯となり、構成比は平成27年の13.7%より0.9ポイント低下して12.8%となり、近隣市では西宮市に次いで低く、伊丹市と同水準である。

単身世帯及び高齢単身世帯の構成比



資料：総務省「国勢調査」

	令和2年					平成27年		変化 (H27-R2)	
	世帯	単身世帯		高齢単身世帯		単身世帯	高齢単身世帯	単身世帯	高齢単身世帯
	(実数)	(実数)	(%)	(実数)	(%)	(%)	(%)		
尼崎市	221,148	95,671	43.3	28,198	12.8	41.2	13.7	2.1	▲ 0.9
神戸市	734,091	318,372	43.4	101,752	13.9	39.8	14.2	3.6	▲ 0.3
明石市	133,488	47,314	35.4	18,784	14.1	30.2	12.7	5.2	1.4
西宮市	215,454	78,102	36.2	25,821	12.0	35.0	10.7	1.2	1.3
伊丹市	82,384	24,916	30.2	10,572	12.8	27.7	11.0	2.5	1.8
宝塚市	95,366	27,457	28.8	12,579	13.2	29.4	11.4	▲ 0.6	1.8
大阪市	1,464,615	784,785	53.6	213,260	14.6	48.6	14.9	5.0	▲ 0.3
豊中市	176,759	61,489	34.8	25,642	14.5	33.1	13.4	1.7	1.1

資料：国勢調査

3 昼夜間人口比率

令和2年における本市の昼夜間人口比率※は0.966であり、通勤等による市外への流出人口が市内への流入人口を上回っている。近隣市のなかでは、本市は、大阪市（1.284）、神戸市（1.023）に次いで高く、通勤等による流入人口が比較的多い。

また、本市において令和2年（0.966）は、平成27年（0.963）と比べると0.003ポイント上昇しており、伊丹市（0.027ポイント）や宝塚市（0.011ポイント）、明石市（0.009ポイント）と比べると、上昇幅が小さくなっている。

昼夜間人口比率の推移



資料：総務省「国勢調査」

※ 昼夜間人口比率は、昼間人口（常住人口から通勤・通学による市外への流出人口を差し引き、通勤・通学による市外からの流入人口を加えた人口）を夜間人口（常住人口）で除したものである。1を超える場合、流入人口が流出人口を上回ることを意味する。

